

令和4年度さいわい縁むす日

報告書



令和5年3月 川崎市幸区

目次

1. 令和4年度さいわい縁むす日の経過について	1
(1) 「さいわい縁むす日」事業の概要	1
(2) 令和4年度さいわい縁むす日の経過について	3
2. モデル地区の概要と特徴	4
(1) モデル地区の基本状況	4
(2) 世帯の構成の特徴について	4
(3) 地域コミュニティの特徴について	5
(4) 住民への周知方法の特徴について	6
3. 地域課題の抽出と課題解決策について	7
(1) 地域課題の抽出	7
(2) 課題解決策の検討	8
(3) 実施にあたっての支援	9
4. さいわい縁むす日の実施について	10
(1) さいわい縁むす日の実施	10
(2) さいわい縁むす日強化月間について	18
(3) 取材	21
5. 令和4年度さいわい縁むす日の評価・検証	22
(1) 来場者数について	22
(2) 来場者へのアンケートについて	22
(3) 自治会の意見	30
(4) 評価・分析	32
(5) 令和5年度以降の「さいわい縁むす日」に向けて	34
■資料編	38
(1) 町内会連合会説明資料	38
(2) 会合の記録	39
(3) 制作物等	52
(4) イベント開催にあたっての各種手続き	53

1. 令和4年度「さいわい縁むす日」事業について

(1) 「さいわい縁むす日」事業の概要

① 「さいわい縁むす日」とは

地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりとして

- ・「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など区民の暮らしの基盤だと考えています。一方で、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関心や人間関係の希薄化が進行し、地域力の低下が課題になっています。また、長年区と共に市民活動の活性化に寄与してきた市民活動団体においても、担い手が固定化・減少しており、活動の活性化が課題となっています。
- ・そこで幸区では、私たちが日ごろ生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関心や関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を行います。

<さいわい縁むす日とは ~あちこちで広がり、幸区民の縁が結ばれることを期待して~>

- ・さいわい縁むす日は、フランスのパリで1999年に始まった「隣人祭」に由来する。隣人祭とは、独居高齢者の孤独死に心を痛めたとある青年が、年に1度、ご近所同士で食べ物や飲み物を持ち寄って、パーティを開き交流を深めたことから始まった活動である。また、渋谷区では、欧米の取組を参考に6月の第一日曜を「渋谷おとなりサンデー」とし、渋谷区に住む人・働く人・遊びに来る人、渋谷区にかかわる人みんな含めて「おとなりさん」として、地域に目を向けるきっかけを作っている。
- ・幸区では、渋谷区の取組を参考にしながら、フランスで起こったこの素敵な物語が、幸区のあちこちで広がり、幸区民の縁が結ばれることを期待して、区制50周年を迎える2022年、「さいわい縁むす日」をスタートする。



②さいわい縁むす日の進め方について

地域の抱える課題の解決につながる取組を一緒に考え実践し、広げます

- さいわい縁むす日とは、地域の抱える課題の解決につながる取組を地元のみなさんが中心となって取組んでいくものであり、この取組を区役所やまちづくりコンサルタントが検討段階から支援するものです。これを通じて、地域のなかの縁が広がっていくことを目的とします。
- 同じ思いを持つ地域の人の手により、まちでたくさんの小さな交流が起こり、10年後の60周年には、みんながご近所さんとあいさつできる関係になることを願い、新たな地域活性化策として展開します。

(2) 令和4年度さいわい縁むす日の経過について

- 令和4年度さいわい縁むす日については、今年度が1回目であることからモデル地区を1地区を決めて実施することとしました。
- 令和5年度以降は、モデル地区で得られた経験やノウハウ、知見を踏まえて区内の別の地域に展開することを検討します。また、令和4年度のモデル地区においても引き続き数年は支援を継続することを検討します。

経過	時期	内容
各町内会連合会説明と募集	7月15日(金) ・幸区町内会連合会 7月27日(水) ・日吉地区町内会連絡協議会 8月2日(火) ・南河原地区町内会連合会 8月25日(木) ・御幸地区町内会連合会	<ul style="list-style-type: none"> 幸区内各町内会連合会において、「さいわい縁むす日」の事業を説明した。合わせて、「さいわい縁むす日」を希望する町内会自治会を募集した。 募集の期日を9月9日までとした。
モデル地区(自治会)の決定	9月10日	<ul style="list-style-type: none"> 募集した結果、希望は1地区であった。このため、希望した「塚越ミレナリータワーズ自治会」が対象地区となった。
モデル地区の課題抽出	10月～11月	<ul style="list-style-type: none"> 塚越ミレナリータワーズ自治会メンバーが参加する会合を複数回開催した。 その中で自治会メンバーにヒアリングしながら、地域課題を抽出した。
課題解決方法の検討	11月～	<ul style="list-style-type: none"> 自治会メンバーが参加する会合において、課題解決の方法について検討した。 3月12日にさいわい縁むす日を開催することを決めた。
さいわい縁むす日及び強化月間の実施	2月～ ・さいわい縁むす日強化月間	<ul style="list-style-type: none"> Instagramにて、さいわい縁むす日の準備進捗状況や、モデル地区周辺のまちの魅力発信を行った。
	3月12日(日) ・さいわい縁むす日開催	<ul style="list-style-type: none"> 塚越こかげ公園や塚越ミレナリータワーズのエントランス部分を使用して、さいわい縁むす日を実施した。
振り返り	3月22日(水)	<ul style="list-style-type: none"> さいわい縁むす日の実施について、参加者アンケートの結果や自治会メンバーからの意見を踏まえて、振り返りを行った。

2. モデル地区の概要と特徴

(1) モデル地区の概要

- ・モデル地区の概要は下記のとおりです。

モデル地区名	塚越ミレナリータワーズ（所在地：川崎市幸区塚越4丁目）
戸数	747戸
築年月	2007年08月
用途地域	工業地域

○かつては工場が立地していたが工場の移転に伴い、大規模なマンションが立地した。周辺も同じように工場の移転にともない、大規模マンションが立地しているところが多い。

○塚越ミレナリータワーズに隣接して、塚越こかげ公園（街区公園）が整備されている。面積は、1,747 m²となっている。今回のさいわい縁むす日の主要会場となった。当公園については、幸区道路公園センター管理となっている。



(2) 世帯の構成の特徴について

- ・自治会メンバーへのヒアリングから、モデル地区の世帯構成の特徴は、下記のようなことが言えると考えられます。

■ファミリー層が中心で住民の平均年齢も比較的若いと思われる

○夫婦と子どもで構成するファミリー世帯が最も多い。夫婦のみ世帯、高齢者世帯もみられる。

○子どもは、中高生くらいの年代が多いのではないかとされている。

○高齢者については、自治会では令和4年度の敬老祝い事業の高齢者への贈り物の際に60名くらいに配ったこともあり、80名くらいいるのではないかとと思われる。

(3) 地域コミュニティの特徴について

- ・自治会メンバーへのヒアリングからモデル地区の地域コミュニティの特徴は、下記のようなことが言えると考えられます。

■自治会について

○塚越ミレナリータワーズの世帯数が 747 世帯と多いことから、塚越ミレナリータワーズ単体で自治会が設置されている。

→過去に塚越ミレナリータワーズが、塚越4丁目自治会に入るかどうか検討したが、世帯数が多いため単体で自治会を設置することになった。当時、塚越ミレナリータワーズ単体で自治会を設置することについて、住民間で自治会をつくるメリット、デメリットを整理しながら議論をし、自治会をつくったということであった。

○塚越4丁目自治会とのつながりが強い。

○塚越ミレナリータワーズ単体で子ども会があり、子ども会を通じた住民同士のつながりが強いと感じられる。

○自治会の構成は下記のとおりであり、各々が行事などを担当している。

<塚越ミレナリータワーズ自治会構成>

会長 副会長 会計 会計監査	総務部
	防災部
	文化部（この中に子ども会がある）
	体育部
	環境部
	広報部
	交通部
	プラチナ倶楽部
民生児童委員	
主任児童委員	
御獄神社氏子会	

■地域のイベント等について

○これまで塚越ミレナリータワーズ内で開催されたイベントは、比較的多いと思われる。これまで開催した主なイベントとしては、次のページのようなものが挙げられる。（周辺町内会と共催のものも含む/近年はコロナ禍のため中止のものもある）

○先にも述べたが、これらのイベントを自治会の各々が担当している。

<主なイベント>

こかげ公園清掃（毎月）	納涼踊り大会（7月）
夏休みラジオ体操（8月）	御獄神社祭礼（9月）
敬老祝い事業（9月）	ハロウィンお菓子配布（10月）
リレーカーニバル（10月）	新春もちつき大会（1月）
綱引き大会（1月）	防災訓練（3月）

など

その他当自治会として、幸区民祭、春秋交通安全運動等に参加している。

○自治会の会合などでイベントなどを提案して、取組むような雰囲気ができている。

○塚越2丁目でこれまでに縁日をやってきた。これが地域コミュニティ形成の場として機能していた。しかし、主催者（商店街）の高齢化、縁日当日に出るごみ問題などの課題があり、なくなってしまった。

■塚越ミレナリータワーズ内に趣味のサークル活動がある

○近年はコロナ禍で活動していないが、ゴルフ部があるということである。コロナ禍の前までは、サークルのメンバーでゴルフコースに行っていた。

○最近では、バイクの愛好家で集まったミレナリーライダーズクラブがあり、ツーリングなどのイベントがある。このミレナリーライダーズクラブがさいわい縁むす日において、バイク展示を行い、子どもたちから好評であった。

■塚越ミレナリータワーズ及び周辺の施設について

○塚越ミレナリータワーズ内にラウンジ設置されており、そこで自治会の会合や管理組合の会合が行われている。

○ラウンジ内にグラウンドピアノが設置されており、住民が自由に使うことができる。過去にラウンジ内でコンサートを開催したこともある。

○塚越ミレナリータワーズに隣接して、塚越こかげ公園（街区公園）が整備されている。塚越こかげ公園は見通しが良い公園で、塚越ミレナリータワーズをはじめとした周辺の子どもの遊び場となっている。

（４）住民への周知方法の特徴について

○住民への周知方法は、エントランスに設置されているデジタルサイネージ、集合ポスト横に設置されている掲示板、お知らせなどの全戸配布である。

○かつて回覧板を回していた時もあったが、滞ってしまうことも多くうまく情報が周知されなかった。そのため、エントランスにデジタルサイネージを設置し、情報を流すようにした。

3. 地域課題の抽出と課題解決策の検討について

(1) 地域課題の抽出

- ・自治会との会合のなかで、明らかになった地域コミュニティに関わる課題は、下記のとおりです。

■住民同士のふれあいの機会が少なく、関係性も希薄化している

- 規模が大きいこともあり、塚越ミレナリータワーズの住民同士のふれあいの機会が少ないと感じている。
- 周辺の塚越2丁目、塚越4丁目との住民同士のふれあいの機会が少ない。
- 同じ住民同士で、塚越ミレナリータワーズ内のジムや廊下等の共用部分において顔を合わせても挨拶もしない人が多く、関係性が希薄化している。

■子どもを通じたコミュニティは比較的強いが、それ以外は弱い

- 子どもを持つ世帯が多く子ども会も活発なので、子どもを持つ世帯は関心が高いが、夫婦のみ世帯や高齢者世帯は、あまり関心や参加が高くない。

■塚越ミレナリータワーズ内で自治会や管理組合の情報周知が難しい

- 先に述べたような方法で周知を行っているが、情報が住民に伝わらない。お知らせを全戸配布しても知らないという住民がいる。
- 過去にお知らせは回覧板で行っていたが、滞ることが多かったり、読まないで回してしまう人も多かったことからやめてしまった。

■イベントの実施や自治会等の活動に参加する人が固定化されている

- これまでさまざまなイベントを開催してきたが、参加がなかなか塚越ミレナリータワーズ全体には広がらない。
- 自治会の活動にどれだけ参加しているかという、だいぶ偏りがあると感じている。
- 防災訓練と合わせて行った、焼きそばやかき氷の配布は好評だった。それでも知らない人がいた。無関心の人がいるのは仕方ないと思っている。

■近年は集まる機会（イベント等）が少なくなり、コミュニティの希薄化が進んだ

- 塚越2丁目ですでにこれまで縁日をやってきた。これが地域コミュニティ形成の場として機能していたが、主催者（商店街）の高齢化、縁日当日に出るごみ問題などの課題があり、なくなってしまった。

○令和4年の夏には、塚越ミレナリータワーズ内で納涼祭の開催を予定していたが、全国的な新型コロナウイルスの感染拡大があったため中止になるなど、イベント等の開催が減少し、コミュニティの希薄化がさらに進んだ。

(2) 課題解決策の検討

・地域コミュニティづくりに関わる課題の解決策として、次のようなことが検討されました。

○さいわい縁むす日に取組むことにより、住民同士の顔見知りを増やしたい。

○もともと、さいわい縁むす日事業の募集段階で希望する際に、最近は集まる機会（イベント等）が少なくなったことから、イベントを開催したいという意向であった。

○自治会では、これまでに地域コミュニティを醸成するようなイベント開催などの取組を行っており、このような取組の経験や知見を有している。また、令和4年の夏に納涼祭が企画されていたが、新型コロナウイルス感染が拡大したために中止としたため、その時に企画した内容やノウハウがある。

○SNS や塚越ミレナリータワーズ内にあるデジタルサイネージ、掲示物、全戸配布チラシ等様々な手法で住民への情報周知を行い、どれが効果的かを検討したい。

○区役所やコンサルタントのリソースや知見を活用したい。

「さいわい縁むす日」のあり方について

方向性：納涼祭の企画をベースにし、区役所等のリソースを活かして開催する

○納涼祭の企画をベースとし区役所や区内の市民活動団体等のリソース、コンサルタントの経験や知見などを活かして、さいわい縁むす日として開催する。

「さいわい縁むす日強化月間」のあり方について

方向性：住民に対してさまざまな手法でさいわい縁むす日の周知を行う

○さいわい縁むす日強化月間を通じて、さいわい縁むす日の開催の周知を図る。また、さいわい縁むす日の周知だけでなく、塚越ミレナリータワーズ周辺にある隠れたまちの魅力も紹介する。

○周知の方法としては、区役所のリソースやコンサルタントのノウハウ、技術を活かすものとする。

(3) 実施に当たっての支援

- ・イベント開催にあたっての各種行政手続きについては、区役所が支援を行いました。手続きについては、下記のとおりです。なお、今後、塚越ミレナリータワーズ自治会が単独でも事業を継続できるよう、申請内容は共有しています。

①保健所

- ・食品提供を行う際に必須の手続
- ・行事開催届：主催者として届け出る
- ・出店概要書（食品提供関係）…出店者として主催者に届け出る。今回は自治会以外の地元業者等も出店しているので、その者たちからも提出してもらっています。

②消防署

- ・火を使い、かつ不特定多数の者が出入りする催しを開催する際に消防署に事前届出するもの
- ・露店等開設届

③道路公園センター

- ・市が管理する公園を使用してイベント等を開催する際に届出が必要。併せて、使用料も徴されるが、今回は自治会が主催のため、減免を受けている。

※各種書類については、「資料編（4）イベント開催にあたっての各種手続き」参照

4. さいわい縁むす日の実施について

(1) さいわい縁むす日の実施

①主な企画の内容

- 軽食やお菓子などの販売を中心とした物販系の出店と、ゲームや体験系のブースを設置しました。また、座ってくつろげるテーブルと椅子を設置しました。
- 物販系の出店で人に来てもらい、ゲームや体験系のブースやくつろげるテーブルと椅子で交流を深める方法で開催しました。
- 主な企画の内容は、下記の通りです。

1) 物販系ブース

○物販系ブースのうち、フランクフルト・餃子、ポップコーン、駄菓子については、自治会メンバーで行った。

○このなかで、子どもの来場者が多かったことから、駄菓子の人気が高かった。

<フランクフルト・餃子>



<ポップコーン>



<駄菓子>



<野菜直売>

○野菜直売については、区役所のネットワークを活用し、宮前区野川の直売所から新鮮野菜を仕入れた。新鮮野菜については、午前中でほとんど売り切れた。

野菜直売の概要

予 算：40,000 円

実施概要：

- ・幸区役所地域振興課から、市役所経済労働局都市農業振興センター農業振興課に対して、3/12の縁むす日当日に市内産の野菜を販売してくれる直売会等はないか相談を行った。
- ・その結果、宮前直売会（宮前区野川）が協力してくれることになった。
- ・調達した野菜は、下記のとおり。

①ほうれん草	100 個	②ブロッコリー	40 個	③大根	40 個
④葉ニンニク	20 個	⑤ネギ	20 個	⑥ニンジン	20 個
⑦キャベツ	40 個	⑧菜の花	10 個		
- ・当日の朝10時に直売会まで引き取りに行き、代引きとなった。仕入れた野菜は、会場まで車で運んだ。
- ・野菜の鮮度は高く、質・量とも大変満足いただけるものを調達できた。
- ・宮前直売会の方は、今後も同様のイベントがあれば、喜んで協力すると言ってくれている。



<キッチンカー・生活クラブ>

○自治会のネットワークにより、キッチンカーに来てもらい軽食を販売した。終日来場者が多かったこともあり、行列が絶えなかった。

○生活クラブでは、生活クラブのPRと合わせて試食コーナーを行った。



2) ゲーム・体験系のブース

○ゲームや体験系のブースでは、モルック、ボードゲーム、自転車シミュレーター、ミレナリーライダーズクラブによるバイク展示が行われた。

<モルック>

○モルックは、子どもたちに大人気であった。モルックを2セット用意し2か所でできるようにしたが、行列が絶えなかった。



<ボードゲーム>

○ボードゲームについては、「ギリギリアイスゲーム」「クアルト」「ダブル」「マンカラ」の4種類のゲームを用意した。市民館の職員を配置して遊びにきた人に遊び方を説明した。

○ボードゲームについては、幸市民館を拠点に活動している市民活動団体と、幸市民館からの協力を得ることができた。



<アトラクション・展示>

○アトラクション・展示と展示については、自転車シミュレーター、交通安全 VR 体験、バイク展示を行った。

○自転車シミュレーター、交通安全 VR 体験については、自転車に乗る小学生・中学生が塚越ミレナリータワーズには多く、かつ幸区が自転車交通事故多発地域に指定されていることから、交通安全の啓発のためにさいわい縁むす日で実施することになった。

○バイク展示については、塚越ミレナリータワーズのサークル活動紹介の一環で行った。

○これらは、塚越ミレナリータワーズエントランス部分で行ったため、こかげ公園より人は来なかったが、それでも賑わいをみせた。



②当日の様子

○自治会メンバーの予想をはるかに上回る来場者があった。



○物販系のブースでは、品物が途中で売り切れてしまうブースもあった。



○ゲーム・体験系のブースも子どもを中心に列が絶えなかった。特にモルックは人気であった。○ゲームについては、普段から近くのこども文化センターなどで遊んでいるものと同じものが用意された。子どもにはなじみのあるものだったようで、楽しそうに遊んでいた。



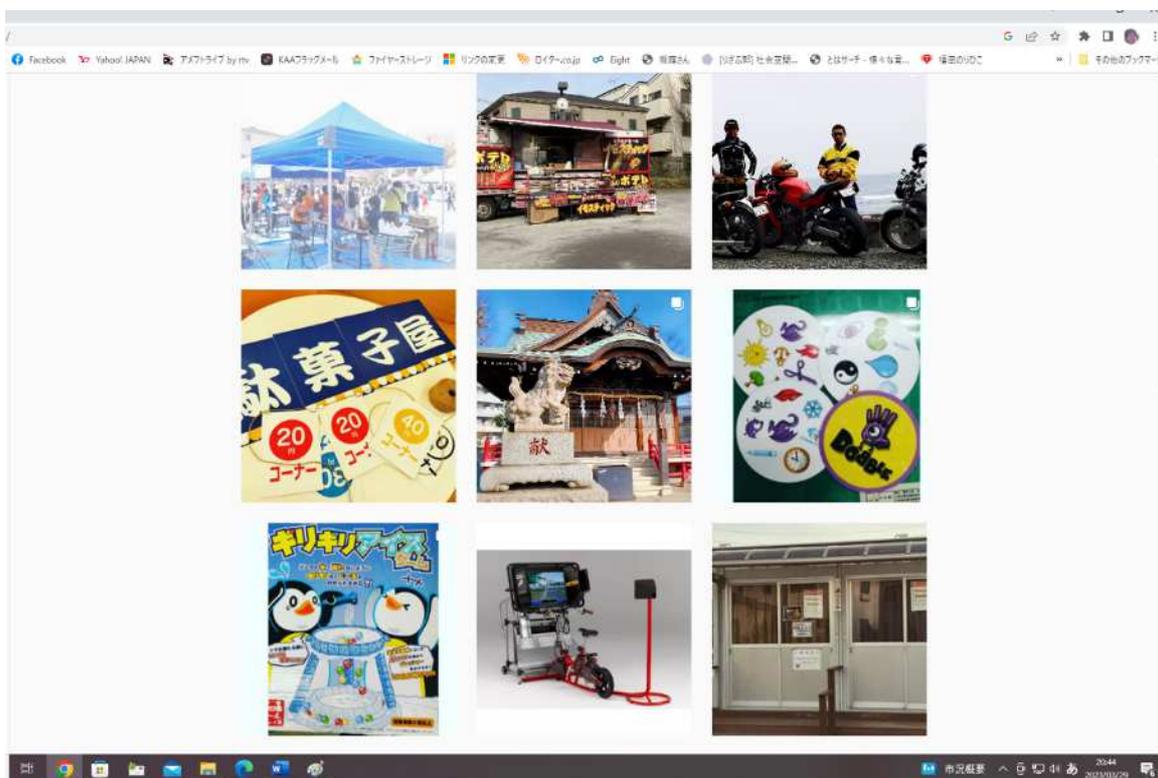
○エントランスで行われた自転車シミュレーター、交通安全VR体験、バイク展示も盛況であった。子どもたちでにぎわった。



(2) さいわい縁むす日強化月間について

- さいわい縁むす日強化月間では、さいわい縁むす日の周知活動を中心に行いました。
- 手法としては、Instagramでの配信や全戸へのチラシ配布、デジタルサイネージなどでの周知活動を行いました。ただし、今回はさいわい縁むす日が第1回目であり、自治会として状況が予想できないところもあることから、周知活動は塚越ミレナリータワーズ内を中心に行い、次回以降に広げていきたいということになりました。
- Instagramでは、さいわい縁むす日の周知活動だけでなく、サークルの活動、近隣のおいしいお店やスポットの紹介などを行いました。

<Instagram>



※Instagramは、2月中旬に開設した

<全戸配布チラシ>

さいわい縁むす日

第1回として、
塚越ミレナリータワーズで開催します！

2023
3/12日
10:00~15:00

会場 塚越こかげ公園・塚越ミレナリータワーズエントランス
主催 塚越ミレナリータワーズ自治会
共催 幸区役所

モルック、ボードゲーム、クイズなど、いろいろなゲームが楽しめるよ

自転車シミュレーター、自転車事故VR体験コーナーがあるよ

お酒やジュースもお楽しみに

フランクフルト、餃子、ポップコーンなどの食べ物屋さんが出るんだって！

川崎市内で採れた新鮮野菜を販売するよ

昔懐かしい駄菓子屋さんがあるよ

「さいわい縁むす日」とは
幸区では、私たちが日ごと生活している地域において人と人とのつながりをつくるため、地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」を行っています。

お問い合わせ先：
塚越ミレナリータワーズ自治会
幸区役所まちづくり推進部地域振興課 電話：044-556-6609 メールアドレス：63tisin@city.kawasaki.jp

お問い合わせは、塚越ミレナリータワーズのInstagramにアクセスしていただき、メッセージでお送りください。

- ・チラシは、周辺自治会の掲示板にも貼られた。



<エントランスに設置されているデジタルサイネージ>



(3) 取材

- さいわい縁むす日の開催について、タウンニュースと川崎市コミュニティチャンネル（市民文化局／YouTube）から取材を受けました。
- タウンニュースについては、3月31日号で掲載され、川崎市コミュニティチャンネルについては4月中旬に配信開始になりました。

<川崎市コミュニティチャンネル>



塚越ミレナリータワーズ自治会長の話は長いがめっちゃ熱くて素晴らしい取組なんだから☆【素敵なまちのひろば/さいわい縁むす日】

KCC 川崎市コミュニティチャンネル チャンネル登録者数 755人

チャンネル登録 5 共有 オフライン



塚越ミレナリータワーズ自治会長の話は長いがめっちゃ熱くて素晴らしい取組なんだから☆【素敵なまちのひろば/さいわい縁むす日】

KCC 川崎市コミュニティチャンネル チャンネル登録者数 755人

チャンネル登録 5 共有 オフライン



塚越ミレナリータワーズ自治会長の話は長いがめっちゃ熱くて素晴らしい取組なんだから☆【素敵なまちのひろば/さいわい縁むす日】

KCC 川崎市コミュニティチャンネル チャンネル登録者数 755人

チャンネル登録 5 共有 オフライン

5. 令和4年度さいわい縁むす日の評価・検証

(1) 来場者数について

- ・来場者数は、800人でした
- ・目視による1時間ごとの来場者数（運営スタッフ、区役所職員等除く）は、下記のとおりです。

	こかげ公園	エントランス
10:15	150	5
11:15	260	20
12:15	200	15
13:15	150	18
14:15	120	-

※運営に参加した人は80名程度。

(2) 来場者へのアンケートについて

- ・さいわい縁むす日当日に来場者に対し、「さいわい縁むす日の感想」「さいわい縁むす日の効果」「今後の担い手発掘の可能性」「広報・周知方法」などに関するアンケートを実施しました。

①アンケート概要

- 実施日 : 令和5年3月12日(日) 10時30分~15時
- 回答者数 : 69人
- 設問 : 下記のとおり

- 設問①本日のイベント「さいわい縁むす日」に参加してどう感じたか？
設問②今日、新しく顔見知りになった方はいたか？
設問③運営スタッフは、楽しそうに見えたか？
設問④運営のお手伝いに参加してみたいと思うか？
設問⑤塚越ミレナリータワーズのインスタグラムをみたことがあるか？
設問⑥今日のイベントを何で知ったか？
設問⑦イベントや自治会活動のお知らせは、どんな方法が知りやすいか？
設問⑧回答者の属性：1) 性別 2) 年代 3) 居住地
設問⑨その他意見

②アンケート結果

設問⑧回答者の属性について

※回答者をイメージしたうえで分析結果を読むために、設問⑧回答者の属性を先に示します。

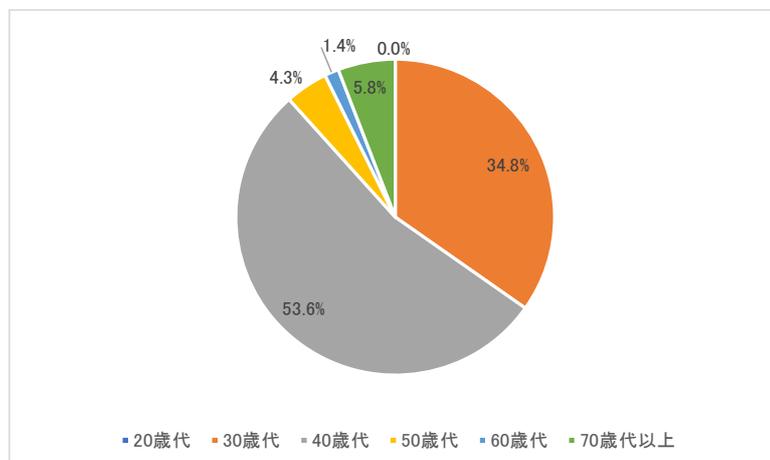
1) 性別について

○アンケート回答者のうち、約7割が女性であった。



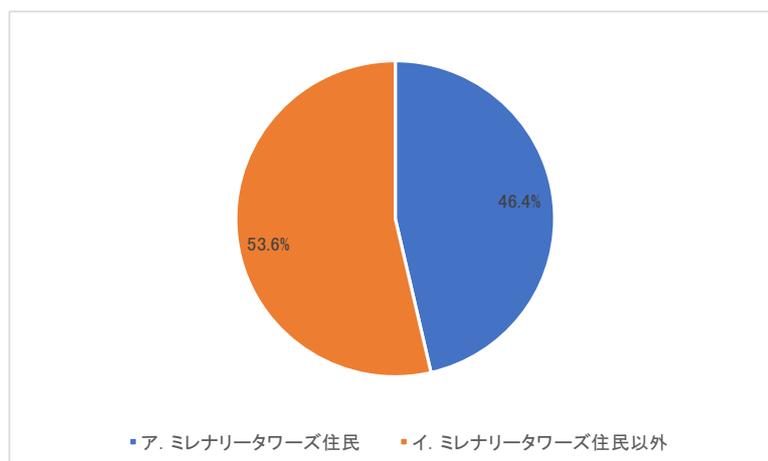
2) 年代について

○アンケート回答者のうち、40歳代が最も多く、次いで30歳代であった。



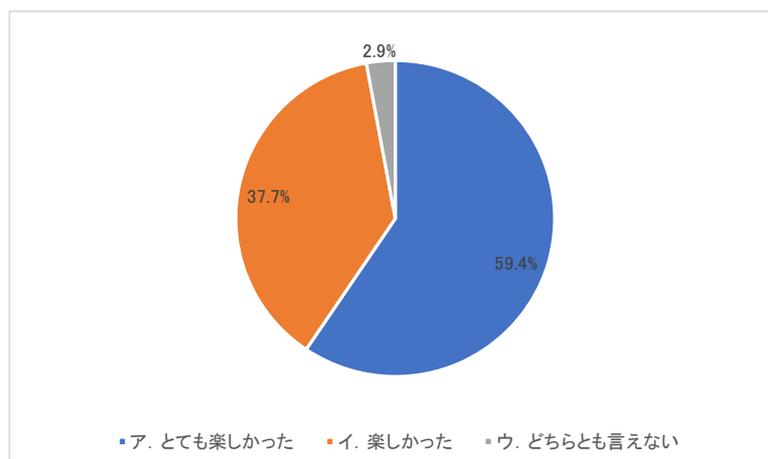
3) 居住地について

○ミレナリータワーズ住民が 46.4%、ミレナリータワーズ以外の住民が 53.6%であった。



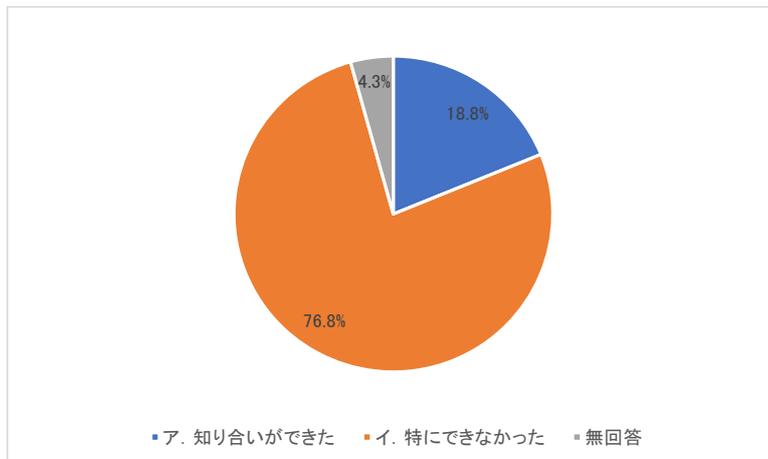
設問①「さいわい縁むす日」の感想について

○「さいわい縁むす日」の感想については、ほとんどの参加者が「とても楽しかった」もしくは「楽しかった」と答えた。



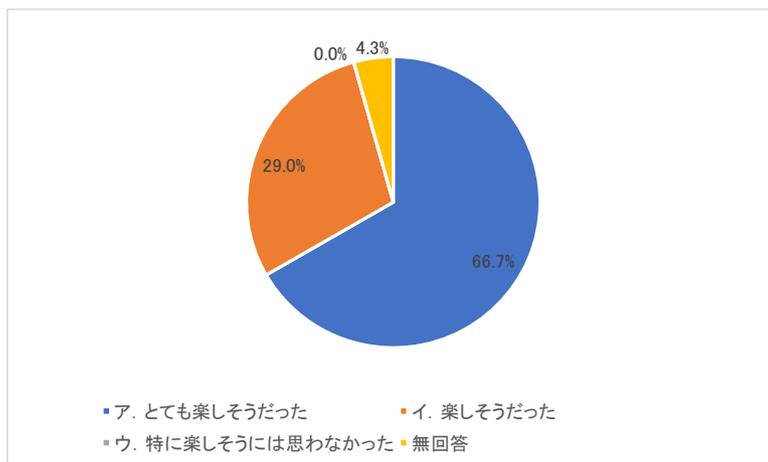
設問②「さいわい縁むす日」を通じて新しい知り合いがあったかどうか

○「さいわい縁むす日」を通じて新しい知り合いがあったかどうかについては、新しく顔見知り（知り合い）ができたと答えた人は、20%弱であった。



設問③イベントの運営について（イベントの運営者が楽しそうに見えたか）

○ほとんどの参加者が、「とても楽しそうだった」「楽しそうだった」と答えていた。

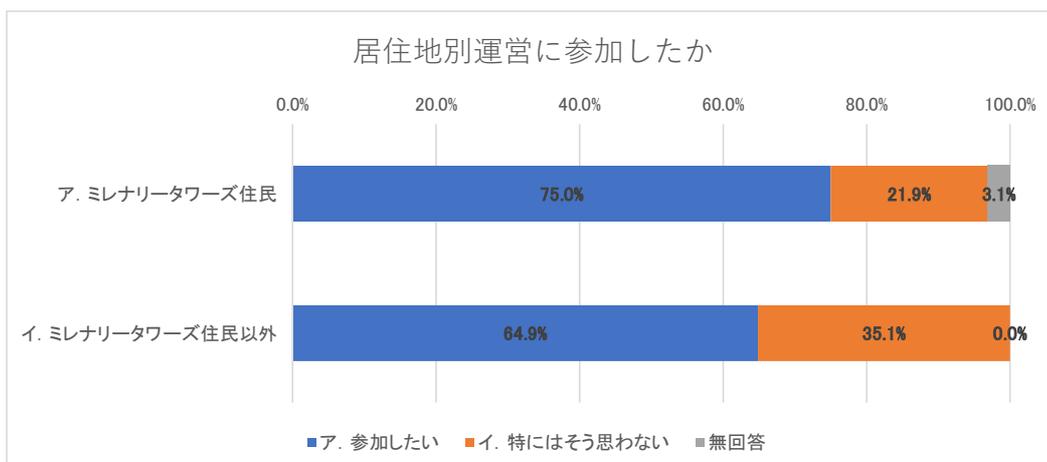
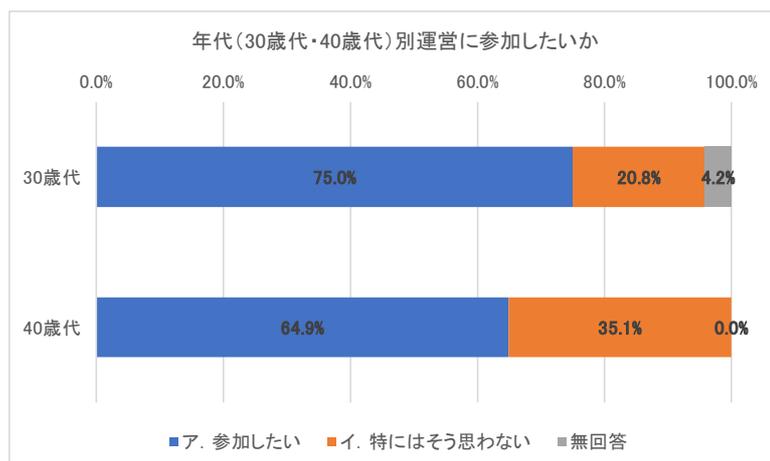
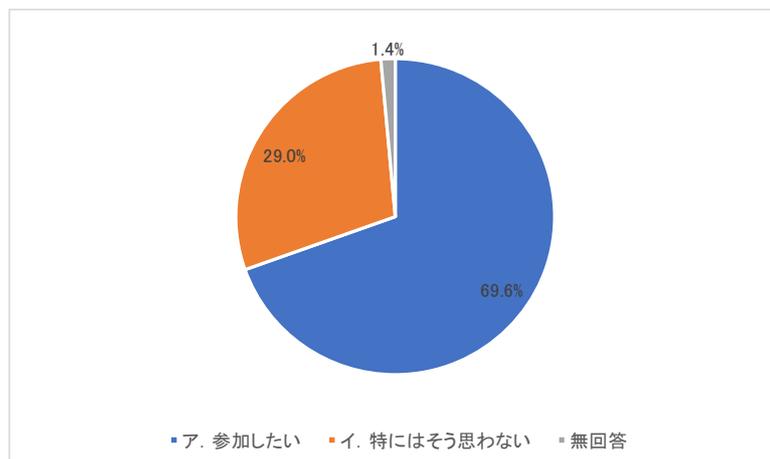


設問④今後の担い手の可能性について

○7割の人が、「参加したい」と答えていました。今後の担い手の可能性は高いと考えられる。

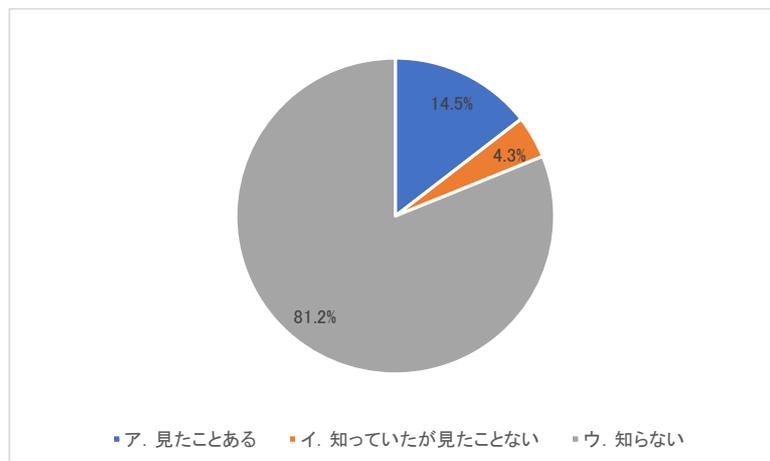
○これを年代別に特に参加が多かった30歳代と40歳代でみると、30歳代では約75%、40歳代では約65%の人が運営に参加したいという回答であった。

○居住地別にみると、塚越ミレナリータワーズの住民で75%、以外の住民では約65%が参加したいという回答であった。



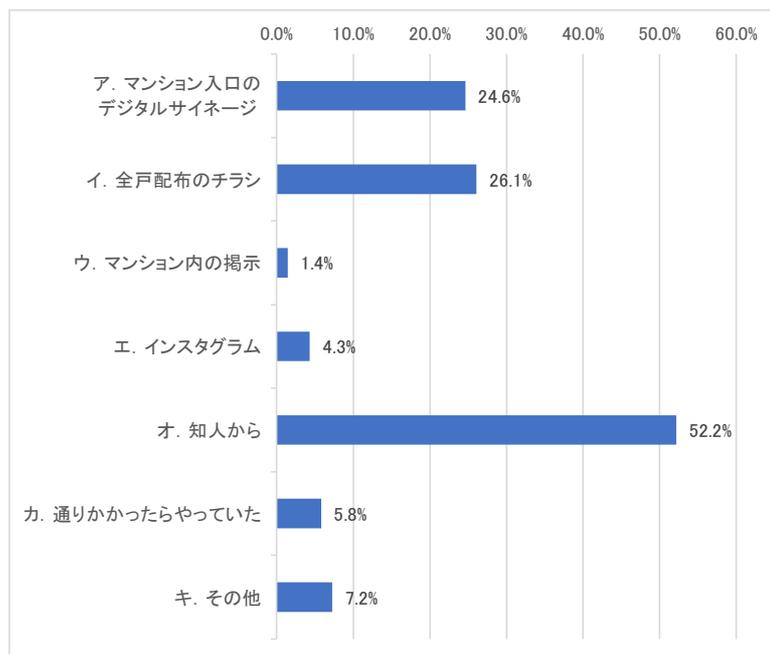
設問⑥塚越ミレナリータワーズのインスタグラムの認知について

○塚越ミレナリータワーズのインスタグラムの認知については、8割以上が認知していなかった。



設問⑦今日のイベントを知った理由（複数回答）

○今日のイベントを知った理由については、「知人から」が最も多く52.2%、次いで「全戸配布のチラシ」で26.1%であった。

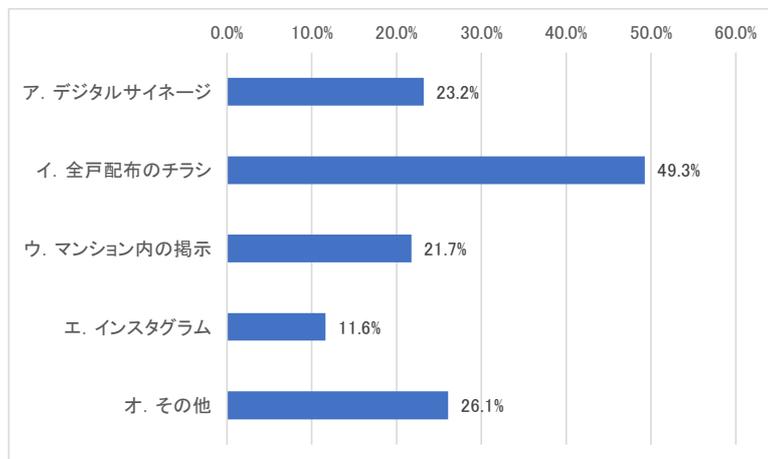


<その他>

町内会掲示板で / 回覧板で / 自治会から

設問⑦効果的な広報・周知方法について（複数回答可）

○知りやすい情報の発信方法としては、「全戸配布のチラシ」が49.3%で最も多く、次いでその他であるが、それを外すと「塚越ミレナリータワーズ内の掲示」23.2%が多くなっている。



<その他>

町内会の掲示板 / 知人から / 公園やスーパーなど人が集まるところにポスター
子どもや学校経由で / スーパーや駅に掲示されていると良い / 回覧板/新聞折込
電車などの広告

設問⑨その他、地域コミュニティ等に関する意見

<p>■「このようなイベントが開催されて良かった・楽しかった・もっとやってほしい」などの意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○継続的にこのようなイベントがあれば良い ○コロナ禍でこのようなイベントができなかったので、子どもたちも久々に楽しめたと思う。引き続きやってほしい。 ○とても良い取り組みだと思う ○このようなイベントがもっと数多くあると良い ○コロナ禍でできなかったので、開催されてうれしい ○コロナ禍でできなかったので、このようなイベントがあつて良かった ○子どもが楽しめる場所ができて良かった ○このようなイベントがあると楽しい ○これまでコロナ禍でできなかったので、楽しい ○楽しければ良いと思う ○これまでコロナ禍でできなかったので、たくさんやってほしい。これで人と関係れると思う ○とても良いイベント。つづけてほしい ○このような機会がもっとあれば良い ○コロナ禍でできなかったのが良かった。こじんまりしたイベントで参加しやすい ○これからもやってもらえるのであれば、孫連れて参加したい ○良いと思う。コロナ禍が明けたので規模が大きくなってほしい。ゲストを呼んがりしてもっと人が来られると良い ○楽しそうで良い。コロナが収まって楽しそう ○コロナ禍のときは何もできなかったので、こういうイベントができてうれしい ○おまつりがコロナ前になってほしい。イベントを増やしてほしい。子どもたちの思いのため ○だんだんイベントが増えてきてうれしい。子どもでも参加できるので ○子どもが楽しめるイベントがたくさんあると良い ○このようなイベントが増えればよい
----------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ○定期的に開催してくれると嬉しい ○子どもだけで来られるので良いと思う ○ミレナリータワーズのみなさんががんばっていると感じます。ありがたい。 ○ボランティアで開催してくれて、ありがとうございました ○子どもが楽しめるので、やることは良いと思う ○ここは都会なので、こういうイベントがあることが驚いた。他の地域でもやってほしい ○やる人は大変だけど、必要
■ イベント運営に関わる意見	<ul style="list-style-type: none"> ○もっと体験型のブースがあると良い ○椅子やテーブルがもっとあると良い ○席がもっとあれば良い ○机やイスがもっとほしい ○座る場所をもっと増やしてほしい
■ 広報・周知に関わる意見	<ul style="list-style-type: none"> ○インスタを観るために、QRコードがわかるようになっていけばよい ○デジサネのあるところを通らないので、わからない。
■ その他	<ul style="list-style-type: none"> ○区役所には、このようなイベントが開催できるようにもっと支援してほしい ○塚越ミレナリータワーズに隣接して公園があるのが良い。

(3) 自治会の意見

・さいわい縁むす日終了後の3月22日に自治会メンバーによる振り返りのミーティングが行われました。振り返りのミーティングで出された意見を整理すると、次のようになります。

■来場者が想定より多かった

- 来場者が想像以上に多かった。
- キッチンカーのお客さんが多かった。列が切れなかった。それだけ来場者が多かったということだ。場所代をいただくことも考えられる。
- モルックをはじめとした体験型のゲームが、子どもを中心に盛り上がった。
- 新鮮野菜の直売は、盛況だった。集客効果はあったと思う。
- 来場者の半数が、塚越ミレナリータワーズの住民以外であったことが驚いた。
- 来場者が多かった要因として、区役所と共催であることもあったと思う。信頼度が違う。

■自治会メンバーの自力により開催ができた、また周辺自治会との連携できた

- 今回のさいわい縁むす日については、基本的には塚越ミレナリータワーズの住民（自治会）で運営ができた。これは非常に良かった。
- 近隣地域の町内会自治会のメンバーが手伝ってくれたことが良かった。特に横断歩道の整理員を担ってくれた。横断する人は多かったが、おかげで安全を確保できたと思う。

■地域コミュニティ醸成のための工夫が必要

- 子どもが楽しむためには、もっと参加型の企画があった方が良かったと感じた。その方がふれあいの場、コミュニティの場にもなると感じた。
- 今回は、テーブルや椅子などの座って食事をしたりおしゃべりをしたりする場所が少なかった。買い物だけして、すぐに帰ってしまう人が多いように思えた。（一方で、テーブルや椅子をたくさん用意することは負担が大きいという意見もあった。）
- 今回のイベントでは、留まっていることができる場所や企画が少なかった。
- 一方で、今回のイベントを通じて、「新しい知り合い」はあまりできなかったことがわかる。今後は、「新しい知り合い」ができるためにはどうしたら良いか考える必要がある。工夫や仕掛けが必要である。

■担い手になる可能性がある人が潜在的に多く存在することがわかった

- 運営に参加したいという意見が多かったが、今後の担い手が増える可能性があって良かった。しかし、積極的に自治会に参加する人は少ない。これをどのように考えるか。
- 今後、このようなアンケートを取った際に、運営に参加したいと答えた人の連絡先がわかるようになると良い。このような機会ごとに声を掛けたい。

- 今回の成果は、7割の人が「運営に参加したい」、要するに「担い手になっても良い」という人がいることがわかったことである。
- 「運営に参加したい」と答えた人が、どのレベルで参加したいのか知りたい。これを知ることにより、運営への誘い方がわかるのではないか。

■さいわい縁むす日を継続することが重要である

- 今回のイベントだけで地域コミュニティの醸成ができるとは思っていない。今回はまずやることが重要であった。このような取組を継続することが重要である。ただし、今回のアンケートで担い手になりたいという人がこんなに多かったのは驚いた。これは大きな成果である。
- このようなイベントを開催するだけでなく、終わってからのお疲れさま会のようなものも重要だと感じる。今回はミレナリータワーズの自治会ではできたが、手伝ってくれた周辺の町内会自治会のみなさんとはできなかった。一方で、最近の若者は、このような機会が負担だという人もいるのも知っておく必要がある。
- ミレナリータワーズの自治会のお疲れさま会では、参加した人からまたやりたいという声が多く出ていた。自分たちが出したお店の反省点や改善点、今後の取組について、いろいろな意見が出されていた。今回の反省を活かしてもう1回やりたいという声が挙がっていた。
- 来場者にもっと「さいわい縁むす日」の意味を知らせた方が良い。
- 別の地域でさいわい縁むす日をやりたいと言われている。
- 本来は、さいわい縁むす日の日があって（決められていて）、区内各所でこのような取組が行われているイメージであった。しかし、一斉に開催することは区役所としても大変だと思う。区役所からの支援も重要なので、日程は被らないようにするような工夫も必要である。（週をずらして開催するなど）

■広報・周知活動はアナログな方法も必要

- インスタグラムを始めたのは1か月前なので、知らない人が多いのは当然の結果である。
- アンケート回答者は年代が30~40歳代の層が多いが、周知の方法がアナログな方法を望む意見が多い。
- 広報・周知の方法としては、全戸配布チラシと口コミが効果があることがわかった。ただし、全戸配布のチラシは、デザインや印刷にお金がかかるので気軽にはできない。今回は、コンサルタントの支援があったので良かったが。

■全体的に好評だったと思う

- 開催について何かクレームを言ってくる人がいるかと思いついていたが、誰も言ってこなかった。それだけ好評だったことがわかる。アンケートでもネガティブな意見はなかった。
- 今回はできる範囲では、最大の成果が得られたと思う。

(4) 評価・分析

①評価項目について

- ・さいわい縁むす日について、自治会メンバーから出された意見や、来場者アンケートの結果を踏まえて、次の項目について分析を行いました。
- ・なお、評価項目については、さいわい縁むす日事業の趣旨や、仕様書から設定しました。

- 1) 様々な個人や団体が自分たちで場を開くことことができたか
- 2) 自発的に参加してくれる人を見つけ出すことことができたか
- 3) 地域の活動を可視化することことができたか
- 4) 多くの人に周知することことができたか
- 5) 住民同士がつながる場をつくることことができることことができたか
- 6) 今後の担い手をみつけることことができたか

②評価・分析

1) 様々な個人や団体が自分たちで場を開くことことができたか

- さいわい縁むす日の運営については、ほとんどが塚越ミレナリータワーズ自治会を中心とした住民で行うことができた。
- 企画立案についても自治会によるものであった。
- 区役所・コンサルタントは、支援に徹することができた。

2) 自発的に参加してくれる人を見つけ出すことことができたか

- さいわい縁むす日の趣旨の1つとして、区内で活動する市民活動団体との連携であった。これについては、体験・交流型ブースの企画において行うことができたが、区役所によるところも大きかった。自治会と市民活動団体のメンバー同士の連携や交流はあまり生まれなかった。
- しかし、周辺の自治会町内会との交流は以前からあったので、今回のイベントでも協力を得ることができた。

3) 地域の活動を可視化することことができたか

- 来場者へのアンケート結果によると、運営への参加やお手伝いをしたいと答えた人は、回答者全体の7割程度あった。自治会メンバーによる振り返りでも出されたが、運営への参加やお手伝いをしたいという人が多かったことは成果と言える。
- このようなイベントを通じて、運営に参加することを触発できると考えられる。

4) 多くの人に周知することができたか

○当日は想定以上の来場者があり、周知活動はそれなりに成果があったと思われる。

○デジタルサイネージやチラシの全戸配布、SNS（インスタグラム）などによる広報・周知活動を行ったが、最も効果的だった方法は、口コミであった。

5) 住民同士がつながる場をつくることのできるようになったか

○来場者アンケートにおいて、「新しい知り合いはできたか」という問いにおいて、できたと答えた人は2割弱にとどまった。イベントの特性やさいわい縁むす日自体が初めてだったことを考えると、2割弱は決して低くないと考える。数値は高くないものの、着実な成果は出たと思われ、今後の継続が必要であると考えられる。

○しかし、今回はじめての開催なので、継続して開催することにより効果は表れると思われる。

6) 今後の担い手をみつけることができたか

○3)でも述べたように、運営への参加やお手伝いをしたいと答えた人は、回答者全体の7割程度あった。この結果は自治会メンバーも驚きであり、潜在的に担い手になりたいという人は多いことがわかった。今後はこのような人が、参加し活躍できる場をつくっていくことが必要である。

○また、今回の開催により、運営に参加した塚越ミレナリータワーズの自治会メンバーは、自信につながったと考えられる。一方で、イベントが大掛かりなところもあり、自治会メンバーの負担が大きかったのではないかと思われる。

(5) 令和5年度以降の「さいわい縁むす日」に向けて

- 幸区の地域特性としては、町内会自治会の活動が活発であると考えられます。このため、さいわい縁むす日は、引き続き町内会自治会をベースとし展開することが考えられます。
- 令和4年度のさいわい縁むす日を踏まえると、令和5年度以降は次のことを留意して進めることが考えられます。

①地域に見合った地域コミュニティづくりを考える時間が必要である

■地域課題の抽出する時間をしっかりとる

- 今回のさいわい縁むす日では、事業開始時期の理由から地域課題の抽出する時間を取ることが短かったことが考えられます。
- 地域コミュニティ醸成のためには、地域課題をしっかりと話し合ったうえでの対策を考えることが重要であることから、地域に関わるみなさんが、普段感じている地域の課題を出し合っ
て共有する時間をしっかりとることが必要であると考えられます。

■事例調査・視察などを通じて、まねができそうな方法や手法を見つける

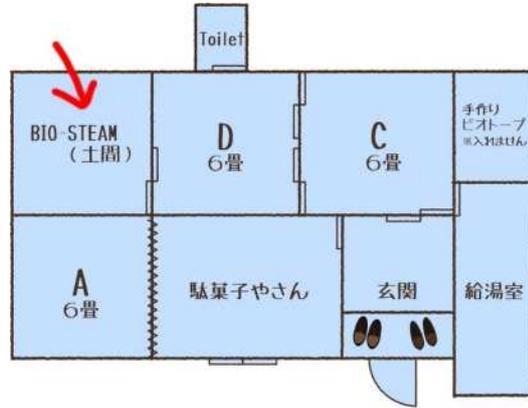
- 地域コミュニティづくりの手法として、イベント開催になりがちですが、それぞれの地域に見合った方法、手法を見つける必要があると考えられます。このようなことから、他の地域や都市で行われている地域コミュニティ事例を見て回ることも考えられます。このようなこと
を通じて、何かまねしたくなる取組事例を見つけることが重要であると考えられます。

他都市の取組事例の例

<川崎市内事例>

OTIDA'shouse（所在地：川崎市宮前区西野川）

- 空き家を活用して、地域の住民でつくりあげた地域の憩いの場です。毎週ひらかれる駄菓子屋さんや、ママたちが集まるお茶べりハウス、ピオスチーム、レンタルスペースや手づくり品を並べるレンタルボックスなど、人が集う仕掛けがたくさんあります。



出典：TIDA'shouse ホームページ

〇こすぎの大学（所在地：武蔵小杉駅周辺地域）

- こすぎの大学は、「誰もが先生であり誰もが生徒である」というキャッチコピーのもと、武蔵小杉に住まわれている方、勤められている方、地元が大好きな方たちが集まる、自由で広く楽しく学んでつながる、“学び舎”である。
- 活動内容な、毎月、参加者のなかから講師になる人が決められ、自分の得意分野などをテーマに口座を行い、それをもとにワークショップを行うものである。講師は毎回変わって参加者が講師を務める。
- これにより、さまざまな学びの機会をつくとともに、人々が出会い知り合う機会をつくり出している。



画像出典：こすぎの大学
フェイスブック

<他都市事例>

○ホシノタニ団地（所在地：神奈川県座間市入谷東）

- 人と人を繋ぐ、人と街を繋ぐをテーマに、人が集まる機会が多くつくられています。
- もともと小田急電鉄の社宅であったが、2013年頃、築約50年を迎え建物の老朽化が進み、社宅機能を閉鎖することになった。その物件を団地の形を生かしてリノベーションして、賃貸住宅とし、居住者同士のつながりや居住者と近隣住民、商店街などとのつながる場として、再オープンしました。



建物1階にはコミュニティカフェがある



団地内に市民農園を整備



コインランドリーがありその中でお茶を飲める



読んだ本を持ち寄るまちライブラリー、本を通じたコミュニティづくり

■区内の市民活動団体を知る機会をつくる

- 「さいわい縁むす日」は、市民活動団体との連携を通じた地域コミュニティづくりという趣旨もあります。これを実現するためには、町内会自治会が市民活動団体のことを知る、もしくは交流する機会が必要であることが考えられます。
- このような機会づくりとして、町内会自治会のメンバーが幸区 SDC ヘインタビューに行く、幸区 SDC が開催するイベント等に参加する、かわさき市民活動センターが開催するイベント等に参加することが考えられます。

②持続可能な運営方法の検討

■負担軽減と持続可能な取組のアドバイスを行う

- 塚越ミレナリータワーズにおけるさいわい縁むす日については、第1号ということや当初からイベント開催ありきであったと思われます。このようなこともあり、イベントの規模が大きく、主催した自治会からすると負担が大きかったことも考えられます。
- また、地域コミュニティの醸成のためには、もっと気軽に開催でき、継続できることも重要だと思われます。このようなことから、コンサルタントや区役所は、事例なども踏まえながら気軽にできる取組をアドバイスする必要があると考えられます。

■担い手の確保するための方法を考える

- このようなイベントを手伝いたい、運営に参加したいという人が比較的が多かったことがわかった。一方で、手伝いたいという人も機会があったら、声がかかったらという意見が多くありました。このため、そのような人が参加しやすいような環境を整えることや、仕組みをつくる必要があります。

■継続した支援が必要

- 1度きりの支援で、さいわい縁むす日が成功だった、あまりうまくいかなかったなどと評価することはできないと考えます。地域コミュニティの醸成に関わる取組が成果を出すためには、地域の経験やノウハウが蓄積していくことや、地域に浸透していく必要があることから、時間がかかります。
- このようなことから、区役所の支援については1度きりで終わるものではなく、数年間にわたり継続することが重要であると考えられます。

資料編

(1) 町内会連合会説明資料

- 幸区町内会連合会、日吉地区町内会連絡協議会、南河原地区町内会連合会、御幸地区町内会連合会への事業説明と、希望する町内会自治会の募集については、下記の資料を用いて説明を行った。

<表面>

令和4年7月15日 幸区地域課

さいわい縁むす日について

事業の説明と希望する地区の募集

地域コミュニティの希薄化を解決するためのきっかけづくりとして

「人と人とのつながり」は防災・防犯をはじめ、子育てや高齢者の見守り、地域の清掃など市民の暮らしの基礎だと考えています。一方で、町内会・自治会の加入率は減少傾向にあり、特に若い世代における地域への関わりや人同士の関係の希薄化が顕著に、地域力の低下が懸念されています。また、高齢者と共々市民活動の活性化を期待してきた市民活動センターにおいても、若い世代の参加が減少しており、活動の活性化が課題となっています。

そこで幸区では、私たちがおこなっている地域において人と人とのつながりをつくるため、地域への関わりや関わりが薄い層に対して地域活動に参加しやすいきっかけを創出することを目的に「さいわい縁むす日」事業を行います。

<さいわい縁むす日とは 一かちごで広がり、幸区民の縁が結ばれることを期待して～>

- さいわい縁むす日は、フランスのパリで1999年に始まった「お入替」に由来する。お入替とは、強迫症の疑念にも巻き込まれる若者が、年に1度、ご近所まで食べ物や飲み物を持ち寄り、パーティを開き交流を深めたことから始まった活動である。また、渋谷区では、故米の取組を参考に6月の第一日を「渋谷おとなりサンデー」とし、渋谷区に住む人・働く人・遊びに来る人、渋谷区にかかわる人みんなをまとめて「おとなりさん」として、地域に目を向けるきっかけを作っている。
- 幸区では、渋谷区の取組を参考にしながら、フランスで起こったこの素敵な取組が、幸区のあるところで広がり、幸区民の縁が結ばれることを期待して、区別50周年を迎える2022年、「さいわい縁むす日」をスタートする。



<裏面>

「さいわい縁むす日」の進め方について

(1) さいわい縁むす日とは
地域の抱える課題の解決につながる取組を一緒に考え実践し、広げます

さいわい縁むす日は、地域の抱える課題の解決につながる取組を地元のみならず中心となって取り組んでいくものであり、この取組を区役所やまちづくりコンサルタントが後援機関から支援するものです。これを通じて、地域のつながりが広がっていくことを目的としています。

同じ思いを持つ地域の人々の手により、まちでたくさんのお話の場が生まれ、10年後の60周年には、みんながご近所さんとお話ができる関係になることを目指し、新たな地域活性化の輪として展開します。

(2) 令和4年度の実践の流れ

①さいわい縁むす日の開催地区を決めます (7月～8月ごろ)	<ul style="list-style-type: none"> さいわい縁むす日を実施する地区については、今年度は1地区を考えています。幸区は町内会・自治会単位を考えています。 さいわい縁むす日の実施を希望する町内会自治会は、区民の希望や課題に関する事前アンケートの上、9月(金)までに幸区役所地域課までご連絡ください。
②地区のまちの課題をみつめます (9月～10月)	<ul style="list-style-type: none"> 決まった地区について、地元のみならず話し合い、その地区が抱える地域課題について話し合います。 さいわい縁むす日は、その解決につながるような取組になりますので、どのようなことを取組めば良いのかを地元のみならず一緒に考えます。
③さいわい縁むす日の開催 (11月～2月)	<ul style="list-style-type: none"> 決めた取組について、さいわい縁むす日として取り組めます。 さいわい縁むす日とありますが、1日で終わってしまうものではなく、継続的に取り組めるものが望ましいと考えています。
④結果報告 (3月ごろ)	<ul style="list-style-type: none"> 他の地区でも、展開できるように取組を推進し、区のホームページなどに掲載します。(総務部地域ホームページ掲載は、まちづくりコンサルタントが区役所で行う。)

■ 区役所側の体制について

- 当事業にあたっては、幸区役所とまちづくりコンサルタントがご支援します。
- 行政：幸区役所 まちづくり推進課 地域開発課 地域活動支援課
- まちづくりコンサルタント：株式会社 社会空間研究所 (地域活動がスムーズに進むように、これまでの取組を活かしてご支援します)

<申込書>

さいわい縁むす日開催地区希望申込書

「さいわい縁むす日」開催を希望される町内会・自治会は、下記に必要事項を記入の上、幸区役所まちづくり推進部地域課までお送りください。

①町内会名	
②代表者	お名前 連絡先 (電話番号・ファックス・メールアドレス)
③さいわい縁むす日を希望した理由	
④地域(町内会)が抱える課題 ※複数選んでいる理由で構いません。また、仮設の課題を挙げたい場合は構いません。	
⑤町内会の体制 ※役員の数・性別など	
⑥町内会の主な活動内容	

ご希望する町内会・自治会は、**9月9日(金)**までに下記にお送りください。
 幸区役所 まちづくり推進部地域課 地域活動支援係
 (ファックスの番号) 044-555-3130
 (メールの番号) 631ein@city.kawasaki.jp (上記の内容をメールにご記入ください)

(2) 会合の記録

①会合の経緯

会合	日時	内容
役員打ち合わせ	令和4年 9月27日（火）	1. 事業説明 2. 意見交換
第1回打ち合わせ	10月19日（水）	1. さいわい縁むすびについて 2. 取組内容について
第2回打ち合わせ	11月4日（水）	1. さいわい縁むすびについて 2. 実施内容について 3. 次回の打ち合わせに向けて
第3回打ち合わせ	11月30日（水）	1. 自治会報告 2. さいわい縁むすび日の開催について 3. その他 4. 次回の打ち合わせに向けて
第4回打ち合わせ	12月14日（水）	1. 自治会に向けて 2. さいわい縁むすびについて
自治会会合	12月18日（日）	※区役所及びコンサルタントからの説明と質疑 応答
第5回打ち合わせ	令和5年 1月20日（金）	1. 3月12日のさいわい縁むすび日について 2. さいわい縁むすび日強化月間について 3. その他
第6回打ち合わせ	2月8日（水）	1. 3月12日のさいわい縁むすび日について 2. さいわい縁むすび日強化月間について
第7回打ち合わせ	2月22日（水）	1. 3月12日のさいわい縁むすび日について 2. 印刷物について
第8回打ち合わせ	3月1日（水）	1. 3月12日のさいわい縁むすび日について 2. バナーなどの印刷物について
第9回打ち合わせ	3月22日（水）	1. 来場者アンケート集計結果報告 2. さいわい縁むすび日の振り返り

②各回の記録（摘録）

「さいわい縁むす日」塚越ミレナリータワーズ自治会役員打ち合わせ記録

日時：令和4年9月27日（火）15時～16時30分

場所：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）3名 （区役所）地域振興課4名 （コンサルタント）1名

1. 事業説明

※コンサルタント及び区役所より、「さいわい縁むす日」について説明した。

<質問>

- ・「さいわい縁むす日」の開催予算は、誰が負担するのか。

→原則、モデル地区が負担することになる。その他のことで、区役所やコンサルタントは支援行う。

2. 意見交換

（1）地域の課題について

- ・塚越ミレナリータワー内においても、住民間のつながりは薄い。
- ・塚越2丁目でこれまでに縁日をやっていた。これが地域コミュニティ形成の場として機能していた。しかし、主催者（商店街）の高齢化、縁日当日に出るごみ問題などの課題があり、なくなってしまった。
- ・塚越ミレナリータワーでは、この夏に夏祭りを企画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大のため、急遽中止にした。このため、地域コミュニティ形成の場をなかなかつくりえない状況である。

（2）「さいわい縁むす日」に関わる意見

- ・今年夏祭りを企画していたので、これをベースに「さいわい縁むす日」を行うことができると思う。
- 夏祭りでは、キッチンカーにきてもらうなどを考えていた。
- ・「さいわい縁むす日」では将来的には、塚越2丁目、4丁目に広げたいと思っている。2丁目の方には説明してあり、理解を得ている。
 - ・「さいわい縁むす日」の開催場所については、検討の必要がある。ミレナリータワーの公開空地部分は交通量が多い道路と面しており、危険がともなう。ミレナリータワー内の敷地でも開催可能であるが、不特定多数の人が自由に入出入りできると嫌がる住民がいるかもしれない。このため、隣接した公園で開催することが良いのではないか。
 - ・アイデアとしては、夏祭りで企画した内容で下記のようなものを加えたらどうか。
- 似顔絵描き（自治会役員に知り合いがいる）
- 昔遊び（ミレナリータワー在住の高齢者が駒回しなどできないか）
- 地元（川崎市）で採れた野菜販売（市内農家と調整できる可能性がある）
- など

- ・「さいわい縁むす日」の開催日については、令和5年2月11日（土）もしくは12日（日）で考えたい。
- ・今回は、ミレナリータワーを中心に行う。会場はミレナリータワー敷地内と隣接する公園あたり。将来的には、塚越2丁目や4丁目と一緒に開催することを目指す。
- ・次回は、ミレナリータワー自治会役員会において、区役所・コンサルタントが出席して検討を行う。日程は調整後、区役所に連絡する。

（3）塚越ミレナリータワーの現状

- ・総戸数は、747戸。

- ・築16年くらい経っている。当初は小さな子どもがいる世帯が多かったが、今では高校生くらいの子どもの世帯が多い。
- ・高齢者については、先日の敬老の贈り物の際に60名くらいに配ったので、80名くらいいると思われる。

「さいわい縁むす日」第1回打ち合わせ記録

日時：令和4年10月19日（木）19時～20時30分

場所：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）5名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

1. さいわい縁むす日について

※コンサルタント及び区役所から、「さいわい縁むす日」について説明した。

- ・「さいわい縁むす日」は区の事業なのか、それとも塚越ミレナリータワーズ自治会の取組になるのか。
→「さいわい縁むす日」自体は、区の事業である。（区役所）
- ・区役所からの補助はないのか。
→予算的な支援はない。ただし、区役所にある備品類、人的ネットワークなどは活用できる。（区役所）
- ・区役所が絡むとすると、塚越ミレナリータワーズのみのイベントになっても良いのか。一方で区役所から予算補助がないということはどうなのか。
→まずは（今年度）、塚越ミレナリータワーズを中心に取り組んでいただいで構わない。（区役所）
- ・区役所が絡んで塚越ミレナリータワーズだけの取組ではないとなると、塚越ミレナリータワーズの住民に予算の説明がつかない。塚越ミレナリータワーズの予算なので、住民のために使うべきではないかと言われることが懸念される。特にこの結果を区役所のホームページで出されると、そのように言われると思う。

2. 取組内容について

- ・本日の資料に、開催時期が2月となっていたが、2月を選んだ理由は何か。
→先日の役員3名が来られた時に検討されたものであるが、準備期間や区内で開催されるイベントの少なさなどを考えると、寒い時期ではあるが2月が良いのではないかとということであった。（コンサルタント）
- ・塚越ミレナリータワーズは、毎年いろいろなイベントを開催している。子どもが多いこともあって、イベントには多くの人が集まってくれるが、参加者はいつも同じような人になってしまう傾向がある。また、PRがうまくいかないところがあって、デジタルサイネージなどを使って告知しているが、知らない人が多い。
- ・塚越ミレナリータワーズでは、これまでさまざまなイベントを開催してきたが、なかなかマンション全体には広がらない。
- ・塚越ミレナリータワーズのSNSをつくったらどうか。住民がSNSを見たときに自動的に出てくるので、観てくれる人も増えると思う。（コンサルタント）
→塚越ミレナリータワーズ内にクラウドがあるが、あまり活用されていない。（役員）
- ・以前に、防災訓練と合わせてやきそばやかき氷の配布を行ったが、これは好評だった。それでも知らない人がいた。無関心の人がいることは、仕方ないことだと思っている。
- ・「さいわい縁むす日」に取組にあたっては、隣接する公園の活用することも可能である。
- ・まずは、夏祭りをベースにして開催を考えてみることでどうか。今年は新型コロナウィルスが8月に急に拡大したので開催できなかったが、準備をある程度していたのでそれを用いればそんなに手間をかけずにできると思う。
- ・幸区には市民活動団体がたくさん活動していて、そのような団体とコラボできないかと思っている。市民活動団体のなかには、自分たちの活動場所を求めて活動している団体もあるので、そのような団

体ならコラボできると思う。たとえば子どもたち向けの科学の実験を体験してもらうグループもある。
このような団体には区役所からお声がけをすることは可能である。（区役所）

・前回の打ち合わせでは、2月（11日、12日）となったが、時間的に間に合わないかもしれない。一方で区役所として期限もあると思うが、期限はどうなっているのか。

→まずは令和4年度内には開催したいと思っている。また、3月末までにまとめを出さないとならない。
このため、期限は3月上旬になると思う。（区役所）

・区役所が関わることにより、どんなメリットがあるのか。どこまでやってくれるのか。区役所やコンサルタントがどんなアイテムを持つのか、具体的なものを共有したい。

・区役所が「さいわい縁むす日」を行う理由は、幸区の中での地域コミュニティづくりだと思うが、塚越ミレナリータワーズとしては、コミュニティづくりのための活動はすでにたくさん行っている。塚越ミレナリータワーズで、「さいわい縁むす日」を行う必要はあるのか。

・区役所の力を借りるのであれば、これまでの活動をワンランク上に上げるようにしたい。

・「さいわい縁むす日」については、塚越ミレナリータワーズにメリットがあるのであれば、区役所と一緒にやりたいと思う。我々としては、もっとやりたいこともあって、この塚越ミレナリータワーズでは子どもがいる世帯同士のつながりはできているようだが、子どもがいない世帯や高齢者世帯などはなかなかコミュニティができていく。多世代交流のようなコミュニティづくりが必要だと思っている。

・たとえば、ジャズコンサートなどを開催したら、いろいろな世代の住民が集まってコミュニティがつかれると思う。しかし、それなりの歌手などをお願いするとお金がかかる。そのお金をどするかが課題である。そのようなところを区役所が支援してくれるなどがあれば、一緒に開催するメリットがあると感じる。

・区役所がどのような獲得目標や成果を求めているのかわからない。似たような他都市の事例があれば示してほしい。類似事例で、どれだけの効果が出て役所はどのように関わったのかなどがわかると良い。

「さいわい縁むす日」第2回打ち合わせ記録

日時：令和4年11月4日（金）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）4名 （区役所）地域振興課4名 （コンサルタント）1名

※コンサルタントから前回の打ち合わせ記録と進め方に関する資料の説明があった。合わせて地域振興課から、区役所から提供できるリソースについて説明した。これらをもとにして検討した。

1. 「さいわい縁むす日」について

・「さいわい縁むす日」を開催するまでに時間がない。年度を越してできないのか。（役員）

→予算の執行が年度で区切られているので、3月までには開催したい。（区役所）

・花植え・寄せ植え団体とはどんな団体なのか。（役員）

→花植え・寄せ植え団体とは、日常的に区役所前や大師堀沿川の花壇など、公共スペースに花を植えている団体である。（区役所）

・花苗はどのように準備しているのか。（役員）

→団体の会員はみなさん花が趣味の人が多いため、自分たちで苗を育てて持ち寄っていると聞いている。（区役所）

・備品類のリソースについて聴きたいのだが、当ミレナリータワーにはテントが2つくらいしかない。区役所から借りることはできるか。（役員）

→他のイベントと重ならなければ可能である。（区役所）

2. 実施内容について

(1) 人的なリソース

※ミレナリー納涼祭の開催に協力を依頼する可能性について、区役所から提供された人的なリソースをもとにして検討した。

協力を求めるかどうかは、下記のように検討された。

①当区役所危機管理担当による交通安全啓発等（VR機器、自転車シミュレーター等）

⇒○

②音楽系の市民活動団体とのコラボレーション（オーケストラ、オカリナ、ダンス等）

⇒？

③花植えや寄植え等を行っている市民活動団体とのコラボレーション⇒○

→ミレナリータワーの周りに植え込みに、花をたくさん植えて飾りたい。ただし、ミレナリータワーの周りの植え込みは土の状況があまり良くないので、プランターなどにする必要がある。

④実験や科学的工作の体験を提供する市民活動団体とのコラボレーション ⇒×

→子ども向けの企画はこれまでたくさんやっているため、あえて頼む必要はないと感じる。

⑤道路遊び（ペーゴマ回しやメンコ、地面への落書き等）のノウハウを持つ団体とのコラボレーション

⇒△

⑥ソーシャルデザインセンター（地域活動を行う人や団体・資源・活動をつなぎ、地域交流の促進や地域課題の解決を目指す中間支援拠点）との連携 ⇒×

→どのように協力を求めたら良いかイメージできない。

⑦公園使用許可等の行政手続 ⇒？

⑧ポッチャやモルック等のパラスポーツの道具貸出や講師派遣の手配 ⇒？

→ミレナリータワーにグラウンドゴルフのクラブがあるので、あえてやらなくても良いのでは。

⑨野菜販売のノウハウを持つ団体への聞き取り等 ⇒○

→地元の新鮮野菜の販売は、住民からニーズがあると思う。

⑩キッチンカー（商店街連合会等）の紹介等 ⇒○

・その他のアイデアとしては、古着のフリーマーケットが考えられる。3月なら引越す人もいるだろうから、古着はそれなりに出ると思う。（役員）

→古着については、売れ残ったとしても区役所で回収することができる。（区役所）

⇒以上のような検討から、ミレナリー納涼祭の企画にプラスして、花植え団体に協力をお願いしてミレナリータワーの周りに花を植える企画や古着のフリーマーケットの実施について可能性を探ることになった。また、子ども会でもこれまでの検討内容を説明したうえで、検討することになった。

(2) 開催日程について

⇒開催日程については、3月12日（日）の方向で考えるものとする。

(3) アンケートについて

※コンサルタントから提案があった、住民がどのようにミレナリータワーの情報を入手しているか把握するために住民アンケートを実施したらどうかという提案について検討した。

・どのような形で情報入手するのかを聴くアンケートについては、やりたいと思っていた。ただし提案にある先日のハロウィンイベントを題材にするのは、イベントの性格上難しいと思う。

⇒アンケートについては実施する方向で検討する。実施するのであれば、さいわい縁むす日の告知に合わせて実施する。

(4) さいわい縁むす日強化月間について

・さいわい縁むす日強化月間のイメージが浮かばない。（役員）

→「さいわい縁むす日」についてはコミュニティづくりが目的なので、イベントを1回やったら終わりではなく、ある程度期間を設けて取組んでほしいと思っている。（コンサルタント）

・さいわい縁むす日のPR・広報活動でも良いのか。（役員）

→良いと思う。（コンサルタント）

3. 次回の打ち合わせに向けて

⇒次回の打ち合わせは、11月30日（水）19時～行う。内容は下記のとおり。

・さいわい縁むす日及び強化月間の具体的な内容について検討する。

→花植え団体や古着の回収について詳細を確認する。

→その他（上記①⑨）のリソースの内容について、3月12日で可能かどうか確認をする。

→3月12日に区役所のテントやテーブル、イス、コードリール等を借りられるかどうか確認する。

→3月12日に公園の使用が可能かどうか確認する。

→27日（日）に子ども会があるので、そこでさいわい縁むす日について意見を出してもらおう。出された意見について報告する。

「さいわい縁むす日」第3回打ち合わせ記録

日時：令和4年11月30日（水）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）4名 （区役所）地域振興課2名 （コンサルタント）1名

1. 自治会報告

※自治会文化部長より、11月27日（日）に開催された自治会の会合について、報告があった。

・先日の自治会の会合において、「さいわい縁むす日」について報告した。会合では、特に反対意見はなかった。

・会合で出された意見として、ミレナリータワーズでさいわい縁むす日を開催するにあたって、誰が主催者になるのか、また主体になるのか明確にしてほしいということが出された。これは、「さいわい縁むす日」の対象となる人と予算に関する意見だと感じた（主体は自治会で良いと思っている）。

・また、先日の会合は出席者が少なかったため、次回の会合で決議を採ることになった。次回の会合は、12月18日（日）の20時からである。そこで改めて「さいわい縁むす日」について説明する必要があるため、説明できる資料がほしい。また、可能であれば区役所等の出席があると助かる。

⇒主催者については、改めて確認した。区役所とミレナリータワーズ自治会の協働であることが確認された。

2. さいわい縁むす日開催について

（1）3月12日のさいわい縁むす日について

※地域振興課から、区役所のリソースの調整状況について説明があった。

・危機管理担当による交通安全啓発等のVR機器や自転車シュミレーターのイメージがつかない。何か説明できる資料のようなものがほしい。（役員）

⇒次回の打ち合わせまでに、VR機器や自転車シュミレーターの写真などを用意する。

・テントについては、自治会からは3張り、区役所からは4張りの合計7張りを準備できる。これを活用した企画を考えたい。（役員）

※自治会文化部長作成のさいわい縁むす日をもとにして検討した。

・「さいわい縁むす日」は、地域コミュニティ醸成を目的としたものである。このため、物販など以外に、人が集ったり交流できる企画が必要だと感じる。（コンサルタント）

・人が集ったり交流できる企画は、自治会でも考えるがコンサルタントからも提案してほしい。（役員）

・物販で人を集めて、交流企画でコミュニティづくりを進める戦略が良いと思う。（役員）

⇒次回の打ち合わせでは、コンサルタントが人が集ったり交流できる企画に関する提案や事例を提供し、これをもとにして検討する。

（2）強化月間について

- ・強化月間については、「さいわい縁むす日」のPRに関わる取組を行うことが良いと思う・インスタグラムなどのSNSを活用し、例えば#をつけて情報発信するなど。（役員）
- ・インスタグラムなどのSNSで、「さいわい縁むす日」の準備状況などを発信できると良い。（役員）
- ・ホームページもあると良いが、管理などの負担が大きい。このため、SNSを活用することが良いと感じる。（役員）
- ・「さいわい縁むす日」のSNSのなかで、ミレナリータワーズ周辺の魅力資源（お店など）を紹介するのもおもしろい。「さいわい縁むす日」をきっかけに周辺もつながるきっかけになると思う。（役員）
- ・SNSの情報発信は、ミレナリータワーズ自治会で行うことが必要だと思う。ただし写真や情報収集等については、区役所等にも手伝ってもらいたい。（役員）
- ・「さいわい縁むす日」を広げたいと考えているのであれば、区役所でもさいわい縁むす日のポスターを貼るなどミレナリータワーズ内だけでなく区内各所でさいわい縁むす日のPRが必要だと思う。区民にもっと知らせるべきである。（役員）

⇒強化月間については、「さいわい縁むす日」に関する情報発信を中心に検討することが確認された。

（3）アンケートについて

※前回の打ち合わせにさいわい縁むす日のPRを兼ねてアンケートをしたらどうかという意見があったことから、コンサルタントがアンケート案を作成し説明した。

- ・アンケートを行ったらいろいろな意見や要望がされると思う。出された意見や要望に対応することは、自治会にまだそれだけの体力がないので難しいと感じた。（役員）

⇒アンケートの実施については、すぐに行うのではなく状況をみながら実施を考えることが確認された。

3. その他

※地域振興課から、かわさき健康フェスタについて紹介（活用することが可能）

4. 次回の打ち合わせについて

- ・次回の打ち合わせは、12月14日（水）19時～開催する。
- ・次回の検討内容は下記のとおり。

→12月18日（日）の自治会会合での「さいわい縁むす日」の説明内容について

→3月12日（日）の「さいわい縁むす日」の企画の検討（交流企画部分を中心に）

→強化月間での情報発信の検討（SNSを活用した情報発信の方針など）

- ・また、地域振興課から交通安全啓発等のVR機器や自転車シュミレーターの情報（写真など）を示すことが確認された。

「さいわい縁むす日」第4回打ち合わせ記録

日時：令和4年12月14日（水）19時～20時30分

会場：ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）4名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

1. 自治会に向けて

※12月18日（日）に開催される自治会に向けて資料を確認した。自治会の説明資料としては、以下のものを配布することが確認された。

○さいわい縁むす日事業説明資料

○交流企画についての資料

○3月12日（日）の企画配置図

○自転車シュミレーター・VRの説明資料

⇒区役所とコンサルタントで12月18日（日）の出席し、事業説明することが確認された。

2. さいわい縁むす日について

（1）3月12日さいわい縁むす日について

①広報について

- ・今回のさいわい縁むす日の周知活動について悩んでいる。市政だより幸区版に載せることや、タウンニュースに投げ込みはできるが、ミレナリータワーズの住民以外がたくさん来られると大変ということだったので、どのように周知するか。（区役所）

⇒今回は事前告知としては積極的に広報しない方向で考える。「さいわい縁むす日」事業のPRとして広報してもらうか、事後報告としてタウンニュースに取材に来てもらうようお願いする。（自治会）

②古着のフリーマーケットについて

- ・古着のフリーマーケットの開催を検討しているが、古着を出せる人の範囲（対象）をどうするか。ミレナリータワーズの住民だけの対象で古着が集まるか。また、一般区民に広げてしまうとたくさん集まってしまうが、それを自治会で整理することは、大きな負担になると思う。（区役所）

⇒古着フリーマーケットのあり方については改めて自治会で確認する。古着を集める対象を一般に広げることは難しいと考える。（自治会）

③企画について

- ・食べ物を出すにあたって火を使いたいが、可能なのか。（自治会）

→区役所の方で改めて確認する。（区役所）

- ・飲食や交流するためのテーブル、イスがあると良いが、区役所から借りることはできるか。（自治会）

→可能である。（区役所）

- ・交流系の企画について検討する必要があると思う。本日の資料に参考になりそうなものを整理した。

→まちのライブラリーはご時世的に難しいと思うが、他のものは参考になるので自治会で検討する。（自治会）

※区役所から自転車シミュレーターとVRの説明を行った。

④会場の配置について

※別添資料のように検討された。

- ・可能な限り、こかげ公園内のみで開催したいと考えているが、その際に電源が課題となる。区役所で何か借りられるものはないか。（自治会）

→発電機を借りられるかどうか確認する。（区役所）

（2）さいわい縁むす日強化月間について

- ・ミレナリータワーズのInstagramのアカウントはすでにあるので、これを活用したいと思う。
- ・コンサルタントから、Instagram以外のSNSについても提案されているが、当面はInstagramのみとする。

- ・#を活用して、見てもらえる人を繋げる。#さいわい縁むす日、#ミレナリータワーズで考える。ミレナリータワーズ入口のデジタルサイネージ等でInstagramがあることと、#さいわい縁むす日、#ミレナリータワーズをつけてアップすることを促すようにする。

- ・Instagramにアップできる人は、原則自治会のメンバーとする。（メインは自治会文化部長）

- ・Instagramを活用した強化月間については、1ヶ月間と言わず通年で考える。

（3）3月12日さいわい縁むす日までのスケジュールについて

※3月12日さいわい縁むす日までの大まかなスケジュールについて検討した。（自治会は毎月最終日曜日に開催）

1月8日（日）～

デジタルサイネージでのPR第1弾
開催することをPRする。

○デジタルサイネージで3月12日にさいわい縁むす日を開催

1月15日（日）～

さいわい縁むす日強化月間スタート

○Instagramによるさいわい縁むす日強化月間スタート

1月20日（金）19時～

第5回打ち合わせ ○具体的な企画内容を検討

1月29日（日）

自治会 ○具体的な企画内容を検討・確認する。

2月26日（日）

自治会 ○3月12日にさいわい縁むす日の開催・運営方法などの最終確認

3月12日（日） ○さいわい縁むす日当日

塚越ミレナリータワーズ自治会記録（さいわい縁むす日のみ）

日時：令和4年12月18日（日）20時～21時

会場：塚越ミレナリータワーズ内

※区役所及びコンサルタントから、さいわい縁むす日の事業説明を行った。

<意見・質疑>

- ・自治会としては、対象をミレナリータワーズの住民として準備しているが、それで良いのか。（自治会）
- 今回は、ミレナリータワーズ内での地域コミュニティの醸成という趣旨で合意している。このため、ミレナリータワーズの住民が対象で構わない。（区役所）
- ・ミレナリータワーズの住民が対象で構わないということであるが、区役所としてのメリットは何か。（自治会）
- ミレナリータワーズでさいわい縁むす日を通じた地域コミュニティの醸成を行って、それを記録にして別の地区でも展開できるようにしたいと思っている。（横展開したい）（区役所・コンサル）
- ・さいわい縁むす日の具体的なイメージがわかりにくい。ミレナリータワーズでやるべきことや区役所として期待することは何か。（自治会）
- 地域コミュニティの醸成に繋がれば良いと思う。具体的な取組内容は、ミレナリータワーズと一緒に考えるものとする。（区役所・コンサル）
- ・さいわい縁むす日の開催を、住民に周知することが難しいと思う。（自治会）
- ・さいわい縁むす日でやりたいことはわかったが、これで本当に地域コミュニティが醸成するのか、幸区全域に広がるのかがわからない。幸区全域に広げるための方法や工程はないのか。（自治会）
- ・本日の資料に住民同士の交流に関わる企画案が出されているが、これではあまりコミュニティが醸成されているとは思えない。ミレナリータワーズには、子ども会や趣味の同好会、クラブとかがあるので、そこがそれぞれ物販などを行ったらどうか。その同好会やクラブも住民にはあまり知られていないので、周知できる良いきっかけになると思う。（自治会）
- ⇒子ども会や趣味の同好会、クラブなどごとに出店するのは良いアイデアであるので、これを検討することが確認された。

「さいわい縁むす日」第5回打ち合わせ記録

日時：令和5年1月20日（金）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）4名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

1. 3月12日のさいわい縁むす日について

※自治会文化部長から、3月12日のさいわい縁むす日の進捗状況について説明があった。

※合わせて区役所から、火器の使用や飲食を出す際の届け出や規則などの説明があった。（食品については規制の改定があったので、それを中心に説明）

※上記を踏まえて意見交換を行った。出された意見は下記のとおり。

- ・古着のフリーマーケットは、今回は見送る。（自治会）
 - ・計6店舗を出店予定である。そこに自治会で担当をつけて実施することを考えている。（自治会）
 - ・当初の出店でバハ・マールさんを考えていたが、他にも飲食があるので今回は依頼しない。（自治会）
 - ・飲食の出店が多いので、クイズやモルックなどのゲーム系があると良い。特にモルックは、おもしろいらしい。ただし、そこに誰かをつける必要があるが、それをできる人がいない。（自治会）
 - モルックについては、区役所でスポーツ推進委員に相談することが可能である。道具と教える人の手配は可能だと思う。（区役所）
 - ・アルコールを出したいが、時期的のどのようなものが良いか。（自治会）
 - ・川崎の地酒も多いので、そのようなものが良いのではないか。（自治会）
 - ・地元の酒屋から手配することも大事ではないか。（自治会）
 - ・アルコール販売に関わる規制や決まりごとは、どのようになっているか。（自治会）
 - 区役所保健所に改めて確認する。（区役所）
 - ・資料に出されているゲーム類はまだアイデアレベルなので、誰が担当できるか当てがあるわけではない。今後検討する。（自治会）
 - 囲碁や将棋、マージャンなどのゲームは、市民館で活動している団体もあるので、協力してもらえるか確認することは可能である。（区役所）
 - 囲碁や将棋、マージャンなどのゲームは、参加者の回し方が難しいかもしれない。（自治会）
 - 囲碁や将棋、マージャンなどのゲームは、教えてくれる人とセットでお願いできるかどうかだと思う。（自治会）
 - ・当日に雨だったときの対応を検討する必要がある。（コンサルタント）
 - ・当日であるが、警備のような人の流れを管理できるような人がほしい。実働何人くらいお願いできそうかを確認したい。（自治会）
 - ・テントを区役所からお貸しするが前日に搬入するので、保管場所を確保してほしい。（区役所）
 - ⇒出店の具体的な内容については、1月29日の自治会で検討する。
2. さいわい縁むす日強化月間について
- ・デジタルサイネージによるPRをはじめた。（自治会）
 - ・インスタグラムを予定しているが、準備中である。（自治会）
 - ・ミレナリータワーの周辺地域の魅力紹介が検討されているが、情報提供については区役所も協力できる。（区役所）
 - ・チラシを検討しているが、具体的な企画が明確になったらお願いしたい。（自治会）
3. その他
- ・さいわい縁むす日の効果を検証するために、参加者へのアンケートやヒアリングを実施したい。（コンサルタント）
 - ⇒コンサルタントがアンケートもしくはヒアリングを実施することを了承した。
 - ・アンケートについては、シールで貼るような方法も良いと思う。（自治会）

「さいわい縁むす日」第6回打ち合わせ記録

日時：令和5年2月8日（水）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）3名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

1. 3月12日のさいわい縁むす日について

※3月12日のさいわい縁むす日の進捗状況を確認した。出店する内容、交流の企画の内容が概ね決まった。

※さいわい縁むす日の準備内容について確認した。（以下、主なもの）

- ・モルックについては、幸区体育指導委員から協力をもらえそうである。
- ・一輪車クラブについては、一輪車協会に出店することを確認しているところだということである。当日はPRと15時～の自転車シミュレーター終了後にエントランス部分で模擬演技を行う。
- ・警備のために人を配置したい。自治会だけでは足りないのので区役所から協力してもらえると助かる。
- ・当日の集合時間は7時とする。まずはテント設営から始める。
- ・ミレナリータワーや周辺の自治会のPRのために、チラシがあると良い。そのチラシをデジタルサイネージにも映す。

⇒コンサルタントでチラシを作成することが確認された。

- ・その他に、当日に出す看板やのぼり旗なども考えたい。
- ・区役所から10脚準備する。ミレナリータワーから4脚できる。椅子については区役所が準備できるが、数量については後日に相談する。
- ・区役所から借用するものについては、前日にミレナリータワーに搬入する。
- ・モルックの部分には、ブルーシートを敷いて行う。
- ・クイズ・ゲームの提案についての具体的な進め方については、今後検討する。
- ・開会式や閉会式のような、開会と終了のお知らせがあった方が良い。(コンサルタント)

⇒今後、自治会で検討する。

- ・川崎産野菜については都市農業振興センターに問い合わせ中であるが、当日にどのような野菜が出てきそうなのかわからないということである。なお、麻生区早野のいちご農園からいちごを取り寄せることは可能である。ただし、値段が高い。

⇒いちごは見送ることにする。

- ・当日に「さいわい縁むす日」が開催されていることが、わかるような看板のようなものが、必要ではないか。(コンサルタント)
- ・ポスターのようなものもあった方が良い。(自治会)
- ・当日に配布するパンフレットがあれば良いと思う。

⇒当日の看板、ポスター、パンフレットのようなものは、後日に検討する。

2. さいわい縁むす日強化月間

- ・さいわい縁むす日強化月間の実施にあたって、アカウントをとるところまで終わっている。近日中に行う。あとは情報をアップするだけになっている。

「さいわい縁むす日」第7回打ち合わせ記録

日時：令和5年2月22日（水）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）4名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

1. 3月12日のさいわい縁むす日について

※自治会文化部長から進捗状況を説明

- ・物販の金額を確認した。
- ・野菜については、宮前区のセレスモスから購入する。費用に関しては今回は4万円で設定する。
- ・野菜の売値については、セレスモスからの購入時の金額をもとにして決める。
- ・机が21脚必要であるが、現在ミレナリータワーズ及び区役所合わせても18脚である。あと3脚をどのように準備するか。

→近隣の町内会に借りられるか確認する。

- ・一輪車クラブが模擬演技と合わせて、大会の動画を流す。
- ・ライダーズクラブが3台程度エントランスにバイクを展示する。

2. 印刷物について

- ・店舗の看板を作成する。
- ・「さいわい縁むす日」ののぼりを作成する。
- ・同好会紹介の看板

「さいわい縁むす日」第8回打ち合わせ記録

日時：令和5年3月22日（水）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）7名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

1. 3月12日のさいわい縁むす日について

※自治会文化部長作成の3月12日さいわい縁むす日の進め方資料の内容の最終確認を行った。

2. バナーなどの印刷物について

※コンサルタント作成のバナー、のぼり旗のデザイン（案）について検討を行った。

「さいわい縁むす日」第8回打ち合わせ記録

日時：令和5年3月22日（水）19時～20時30分

会場：塚越ミレナリータワーズ内

出席：（自治会）5名 （区役所）地域振興課3名 （コンサルタント）1名

※コンサルタントから3月12日さいわい縁むす日当日に行ったアンケート結果報告を行ったうえで、振り返りを行った。

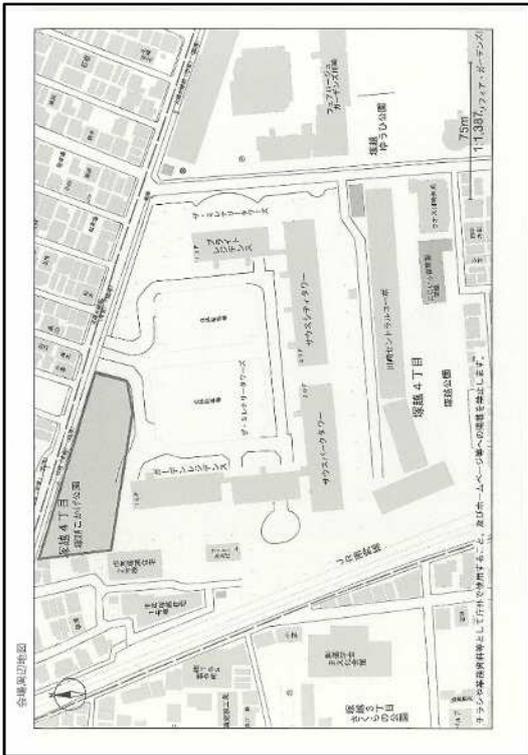
- ・来場者が想像以上に多かった。
 - ・アンケート回答者は年代が30～40歳代の層が多いが、周知の方法がアナログな方法を望む意見が多い。
 - ・塚越ミレナリータワーズでは、かつては回覧板でお知らせしていた。回覧板では滞らせてしまう人や、読まないで回してしまう人がいて非効率であった。このため、エントランスにデジタルサイネージを設置した。
 - ・行政の支援がもっと必要という意見があるが、具体的にはどんな意見だったのか。
- このような地域コミュニティづくりに関わる取組を、行政は支援するべきという意見であった。
- ・今回のさいわい縁むす日については、基本的には塚越ミレナリータワーズの住民（自治会）で運営ができた。これは非常に良かった。
 - ・モルックをはじめとした体験型のゲームが、子どもを中心に盛り上がった。
 - ・新鮮野菜の直売は、盛況だった。集客効果はあったと思う。
- 野菜を卸してくれた直売所は、今後も機会があれば声をかけてほしいということだった。（区役所）
- ・近隣地域の町内会自治会のメンバーが手伝ってくれたことが良かった。特に横断歩道の整理員を担ってくれた。横断する人は多かったが、おかげで安全を確保できたと思う。
 - ・キッチンカーのお客さんが多かった。列が切れなかった。それだけ退場者が多かったということだ。場所代を取った方が良い。
 - ・来場者にもっと「さいわい縁むす日」の意味を知らせた方が良い。
 - ・子どもには、もっと参加型の企画があった方が良いと感じた。その方がふれあいの場、コミュニティの場になると感じた。
 - ・今回は、テーブルや椅子などの座って食事をしたりおしゃべりをしたりする場所が少なかった。買い物だけして、すぐに帰ってしまう人が多いように思えた。（一方で、テーブルや椅子をたくさん用意することは負担が大きいという意見もあった。）
 - ・来場者の半数が、塚越ミレナリータワーズの住民以外であったことが驚いた。
 - ・来場者が多かった要因として、区役所と共催であることも効果があったと思う。信頼度が違う。

- ・広報・周知の方法としては、全戸配布チラシと口コミが効果があることがわかった。ただし、全戸配布のチラシは、デザインや印刷にお金がかかるので気軽にはできない。今回は、コンサルタントの支援があったので良かったが。
- ・開催について何かクレームを言うてくる人がいるかと思い構えていたが、誰も言うてこなかった。それだけ好評だったことがわかる。
- ・アンケートでもネガティブな意見はなかった。
- ・運営に参加したいという意見が多かったが、今後の担い手が増える可能性があつて良かった。しかし、積極的に自治会に参加する人は少ない。これをどのように考えるか。
- ・今後、このようなアンケートを取つた際に、運営に参加したいと答えた人の連絡先がわかるようになると良い。このような機会ごとに声を掛けたい。
- ・今回の成果は、7割の人が「運営に参加したい」、要するに「担い手になつても良い」という人がいることがわかつたことである。
- ・「運営に参加したい」と答えた人が、どのレベルで参加したいのか知りたい。これを知ることにより、運営への誘い方がわかるのではないか。
- ・一方で、今回のイベントを通じて、「新しい知り合い」はあまりできなかつたことがわかる。今後は、「新しい知り合い」ができるためにはどうしたら良いか考える必要がある。工夫や仕掛けが必要である。
- ・今回のイベントでは、留まっていることができる場所や企画が少なかつた。
- ・今回のイベントだけで地域コミュニティの醸成ができるとは思っていない。今回はまずやることが重要であつた。このような取組を継続することが重要である。ただし、今回のアンケートで担い手になりたいという人がこんなに多かつたのは驚いた。これは大きな成果である。
- ・このようなイベントを開催するだけでなく、終わつてからのお疲れさま会のようなものも重要だと感じる。今回はミレナリータワーズの自治会ではできたが、手伝つてくれた周辺の町内会自治会のみならずとはできなかつた。一方で、最近の若者は、このような機会が負担だという人もいるのも知つておく必要がある。
- ・ミレナリータワーズの自治会のお疲れさま会では、参加した人からまたやりたいという声が多く出ていた。自分たちが出したお店の反省点や改善点、今後の取組について、いろいろな意見が出されていた。今回の反省を活かしてもう1回やりたいという声が挙がつていた。
- ・本来は、さいわい縁むす日の日があつて（決められていて）、区内各所でこのような取組が行われているイメージであつた。しかし、一斉に開催することは区役所としても大変だと思う。区役所からの支援も重要なので、日程は被らないようにするような工夫も必要である。（週をずらして開催するなど）
- ・別の地域でさいわい縁むす日をやりたいと言われている。
- ・今回はできる範囲では、最大の成果が得られたと思う。

(2) 制作物

- 下記のようなバナーやのぼり旗を作成した。





品名	数量	単位	備考	備考	備考		
LPガス	10kg×1	1	①フランクフルト ②焼き餃子	各100食程度	①調理済みフランクフルト ②冷凍餃子	なし	①、②ともに数日で消費
電気		1	ポップコーン	各200食程度	ポップコーンの量(既製品)	なし	事前機械リースで対応
LPガス	10kg×2	1	①ビール ②日本酒 ③ホットワイン ④ジュース	①100杯 ②50杯 ③50杯 ④100杯	—	なし	①専用サーバー(リース)で対応 ②、③、④は各自持ち込みをそのまま
			既製品の焼き菓子	40個程度	—	なし	—
			にんじん、大根、長芋、ほうろく、わか	各30個程度	—	—	—
ドゲーム機							
ダン	LPガス	10kg×6	1				別途販売業者との取り
他(自転車シ							

さいわい縁むす日

2023

3/12日

10:00~15:00

会場 堀越こがげ公園・堀越ミレナリータワーズエントランス

主催 堀越ミレナリータワーズ自治会

共催 卒園役所

地域コミュニティづくりのきっかけとして「さいわい縁むす日」を開催

第1号として、堀越ミレナリータワーズで開催します！

モルック、ボードゲーム、クイズ等、いろいろなゲームが楽しめるよ

自転車シミュレーター、自転車事故VR体験コーナーがあるよ

お酒やジュースもお楽しみ

川越市内で採れた新鮮野菜を振替するよ

さいわい縁むす日、お楽しみください

お問い合わせ先：
堀越ミレナリータワーズ自治会
〒345-0204 埼玉県川越市堀越1-1-1
事務局 電話：044-559-5609 メールアドレス：33@city.kawasaki.jp

さいわい縁むす日

各店舗概要 下線があるのがイベントあり

- ① 鉄板屋
- ② ポップコーン屋
- ③ 飲み放題
- ④ 焼きそば屋
- ⑤ 野菜販売
- ⑥ ゲーム(モルック/ボードゲーム/クイズ/雑遊)
- ⑦ キッチンカー(K'sキッチン)
- ⑧ 生活クラブ
- ⑨ 自転車防災訓練・VR体験
- ⑩ 一輪車クラブ
- ⑪ 本堂

会場：コガゲ公園とくじ池跡地、鉄板屋に会場、モルックをボードゲームやクイズと組み合わせ、一輪車クラブを追加、お楽しみ企画

公園レイアウト

ミレナリー内レイアウト (こがげ公園側)

店舗内容詳細

① 鉄板屋 人が足りない

- 代表:
- 担当:
- 出店内容:
 - フランクフルト・冷凍餃子の販売
- 販売価格:
 - 未定(300円くらい想定)

② ポップコーン屋

- 代表: まごも農産店さん
- 担当: 子心舎役員
- 出店内容:
 - ポップコーンの販売
- 販売価格:
 - 未定(200円くらい想定)

③ 飲み物屋

- 代表:
- 担当:
- 出店内容:
 - 飲み物の販売(お酒、ソフトドリンク)
- 販売価格:
 - 未定(300~600円くらい想定)

④ 駄菓子屋

- 代表:
- 担当:
- 出店内容:
 - 駄菓子販売、おもちゃくじ
- 販売価格:
 - 10~300円くらい想定

⑤ 生鮮野菜販売

- 代表:
- 担当: 区役所メンバー3名
- 出店内容:
 - 生鮮野菜販売
- 販売価格:
 - 未定

⑥ ゲーム

- 代表:
- 担当: 区役所(モルック担当)、ホードゲーム団体メンバー
- 出店内容:
 - モルック、ホードゲーム、クイズ、数珠

※ 中学生お手伝い

※ 駄菓子屋メンの多く、場合は飲み物屋が駄菓子屋へ入ります

※ 区役所で預貯金3~5万円は家、軽自動車の中に入るとは思っています

店舗内容詳細

⑦ キッチンカー(K's キッチン車)

出店内容は要確認

⑧ 生活クラブ

- 代表: xxxxx 事務総
- 出店内容:
 - 生活クラブの宣伝、試食/試飲の提供
- 販売価格:
 - 未定(生活クラブに確認)

※ ライフスタイルを大切にしたい

※ 区役所スポーツセンター職員さんが担当する方向で確認中

⑨ 自転車防犯訓練・VR体験

- 代表:
- 担当: 区役所(誘導担当)
- 出店内容:
 - 自転車事故体験、VR体験

⑩ 一輪車クラブ

- 担当部門: xxxxxx
- 代表: xxxxxx
- 出店内容:
 - 一輪車クラブの紹介、販売価格なし

※ ⑧⑨⑩と対応することで、一輪車クラブのPRにもつながります

※ 一輪車クラブが子どもを募集したいとのこと、区役所スポーツセンターの人数は14名ほどとして、15:00~16:00まで所で一輪車クラブのPRも実施する、ことでも検討したい

想定規模

お客様総数: 400名

想定リソース(人) 人が足りない

職員: 6名
区議員: 5~7名 x 7 (キッチンカー/生活クラブ近く)

区役所からのお手伝い:
4名+1名(自転車シュミレーター/VRブース責任者)+1名(モルック担当員?)
x2名(ホードゲーム)

時間(ざっくり予定)

前日:
テント設置の準備
区役所から借りるテントを防災倉庫に仮置き
ガスボンベなどの準備
机などの準備
業務スーパーへ買い出し(事前に予約すること)

当日:
7時から準備開始
・テント設置(7時20分 x 7回)
・ガス設置、鉄板設置、電源設備準備
・ポップコーンマシン設置
・お土産準備
・ゴミ捨て用のカートをミレから借りる
10時から販売開始
14時で自転車ショーミレータ終了、15時まで片付け
15時一輪車クラブのデモ公演
15時販売終了
片づけ&周辺のゴミ拾い
18時完全撤収

その他

リアカーを前日までに4丁目に借りる(にお願い?)
区役所内倉庫への搬送(に一任)
GCCに感謝状(誰から?)
ゴミ箱をミレから借りる

②公園内行為許可申請書

国庫											
公園内行為許可申請書											
令和5年 3月 2日											
(宛先) 川崎市市長											
〒											
住所 瑞穂区1丁目-97-2 瑞穂本											
氏名 市長											
電話											
次のとおり申請します。											
1 公園名	瑞穂公園										
2 日 時	令和5年3月11日 4時(開) 15時00分(閉)										
3 日 時	令和5年3月12日 午前(開) 5時00分(閉)										
4 参加人数	約 400名										
5 業 種 者											
6 費用 用 額	1,000円 手数料										
7 使 用 料											
<input type="checkbox"/> 〇の定め許可しません。 <input type="checkbox"/> 〇の定め許可します。 <input type="checkbox"/> 表の条件で許可します。											
ア 使用料(口銭・入場料) 円 <input type="text"/>											
イ 〇の定め許可条件の通り。											
ウ <input type="text"/>											
※捺印欄は記入しないでください。											

国庫											
公園使用料占用料(減額・免除)申請書											
令和5年 3月 2日											
(宛先) 川崎市市長											
〒											
住所 瑞穂区1丁目-97-2 瑞穂本											
氏名 市長											
次の理由により申請します。											
公園名及び施設名	瑞穂公園										
理由	幸区消防が地籍コンピュータ処理化を目的として、この公園を占有する。このため、この公園の使用料を免除する。自治会が区役所と話し合い、開催したため。										
特 別 条 件 川崎市都市公園条例第21条及び施行規則第16条の規定の適用の有無 <input type="checkbox"/> 適用する <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 免除 <input type="checkbox"/> 適用しない											
申請書	年 月 日	申請料(円)	円								
申請者(氏名)	印	申請(減額・免除)申請書	円								
受理日	年 月 日	受理庁(機関)	円								
※捺印欄は記入しないでください。											

③露店等開設届

副		第10号様式2		露 店 等 開 設 届	
令和5年 3月 2日					
(宛先) 川崎市消防長					
届出先					
住所					
(電話)					
氏名 瑞穂区1丁目-97-2 瑞穂本					
氏名 市長					
開 設 期 間	25年3月11日 18時	開 設 期 間	18時00分(開)	15時00分(閉)	
開 設 場 所	新瑞穂 幸区消防1-3-15 (瑞穂公園)				
開 設 の 名 称	「いっしょ」 露店				
露 店 等 の 名 称 及 び 出 店 内 容	名称	出店内容			
	「いっしょ」				
露 店 等 の 種 類 及 び 数	種別	数量			
	〇				
消 火 器 の 規 格 及 数	〇				
責 任 者 氏 名 及 び 接 触 途 径	氏名	緊急連絡先			
	〇				
収 受 付 南	添 付 品 類				
備考 1 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び生たる事業所の所在地を記入してください。					
2 捺印の順は、記入しないでください。					
3 同様届出位置の消火器及び防火器具は設置状況を明示した配置図を添付してください。					

令和4年度さいわい縁むす日報告書

発行日：令和5年3月

発行者：川崎市幸区